

# りつめい

題字・末川 博名誉総長

Ritsumeikan University  
Alumni Association  
立命館大学校友会報

Rits  
立命館大学

No. **225**  
JULY 2006

特集1

## 立命館小学校 開校

特集2

## ひろがる立命館ネットワーク — 学園構成と教学展開を概観する —



Brilliance  
輝くひと  
58

健康と美を支える  
“高機能下着”の生みの親

株式会社ワコール 人間科学研究所開発工房 主任研究員  
坂 里祭さん（'85理工）



## 特集1

### 立命館小学校 開校

後藤文男校長に聞く  
「立命館小学校が目指すもの」  
写真で見る立命館小学校

3

## 特集2

### ひろがる立命館 ネットワーク

—学園構成と教学展開を概観する—

18

## 輝くひと

坂 里祭さん

1

## RITSUMEI INTERVIEW

川島織物セルコン 身装・美術工芸事業部  
開発・生産統括  
明石文雄さん

8

## 恩師の窓

戸木田嘉久 名誉教授(経済学部)  
林 暁 名誉教授(理工学部)

11

## キーワードから見る現代

メンタルトレーニング  
—ストレスマネジメントのスキル  
佐藤善治 経済学部教授

12

## 自由席

こんな会あります

校友会ネットワーク

All-Rits

立命館校友会大会2006のご案内  
校友会幹事会報告

Rits One ときの人

寺師佳彦さん

立命館学園政策ニュース

キャンパストピックス

学生のスポーツ&イベント

INFORMATION

14

15

16

17

21

22

24

26

28

## 健康と美を支える‘高機能下着’の生みの親



## 表紙の人

株式会社ワコール  
人間科学研究所開発工房  
主任研究員  
坂 里祭さん  
(’85理工・旧姓日下部)

はいて歩けば太ももが適度に緊張し、歩幅が広がってヒップアップ効果が期待できるという女性用下着“ヒップウォーカー”が売れ続けている。筋肉そのものに作用する画期的な商品で、「2005年日経優秀製品・サービス賞」優秀賞日経MJ賞を受けた。開発メンバーの中心的存在が坂さんである。

21年前の入社当時は、美しいデザイン重視の商品開発が主流で、科学的裏付けのある開発をめざす“技術者”坂さんの心意気は、すぐには周囲に理解されなかった。5年目、アスリート用サポートウェア“CW-X”の開発チームができた際、自ら手を挙げて加わった。「運動生理学の先生との交渉、計測装置の調達に実験…、理系の私がやらなければと思いました」。これが研究開発者としての実質的な出発であり、ここでの経験が、女性下着部門に移った後に多くの実を結ぶことになった。

「仕事は地味です。モニターさんに様々なデータを取らせていただき、仮説の検証をしていきます。身体に良い機能を備えた下着をつくりたい一心で、コツコツと。」

根っからの技術者気質。一昨年発売され、これもヒット商品となった“ヒップアップソング”にまつわるエピソードが面白い。「ヒップアップと、軽いけれどもずれない着用感の実現を求めた結果、お尻部分に大きな穴を開けた形に行き着きました。すると社内から「デザインにインパクトがありすぎる。やるべきではない」と批判が殺到。大真面目に機能のことだけを考えた自信作で、見た目がここまで問題になるとは思いもしませんでした(笑)」。坂さんの強みはここにある。既成概念はものとししない。

「特に大きな夢も見ず、働き続けることを目標に、目の前の課題を一つずつこなしてきたことが今日につながりました。学部で1年先輩の夫(康治さん)のおかげでもありますね。」「ヒップウォーカー」をはいての毎日6000歩と、家庭円満が、坂さんの元気の秘訣なのだ。

(写真・小幡 豊 文・寺田直子)





# 立命館小学校 開校



今春、学園内外の大きな期待を受けて、

\*北大路校地に立命館小学校が開校しました。

立命館学園創立者 中川小十郎が、

今から九十年も前に既に思い描いていた

小学校設置ならびに初等教育から高等教育までの

一貫教育の構想が、晴れて実現をみたものです。

立命館小学校における教育は、

その理念・システム・教員・設備のいずれの面においても

最先端のものであり、その環境を謳歌するように、

現在、一年生から三年生まで三百六十八名の子供たちが、

生き生きと学んでいます。

立命館小学校の素晴らしさを、ここにご紹介します。

\*立命館中学校・高等学校跡地

## Ritsumeikan Primary School

# 立命館小学校が目指すもの

——立命館小学校校長 後藤 文男

確かな学力が  
生きる力になる

——立命館小学校「開校おめでとう」  
ございます。子供たちを迎え入れてのご感  
想をお聞かせ下さい。

後藤 ◆正直に申しまして、上手くスタ  
ートが切れてほっとしています。明る  
く元氣のよい子供たちが、我々が予想  
していた以上に高い志を持っているこ  
とが嬉しいですね。志とは、「これまで  
とは違った新しい何かを、この学校で  
やるんだ」という気持ちです。「自分た  
ちはここで命を輝かせていきます」と  
いう氣概を心の底から発しているよう

な、素晴らしい子供たちが入学してく  
れました。そのエネルギーに助けられ  
ています。

それから、私はこの北大路の地で立  
命館中学校・高等学校の教員としての  
スタートを切りましたので、このよう  
な形で戻ってくることでできたことに  
対する感慨も大きいです。

——立命館小学校の教育理念を「説明  
いただけますか。

後藤 ◆人が自らの人生を創り上げてい  
くためには様々な能力が必要ですが、  
その基礎になる力を、十分に鍛えたい  
と思っています。私たちは、二十一世



GOTO Fumio

1978年、立命館中学校・高等学校教諭となる。1999年4月から  
2005年3月まで同学校長。専門は国語科。立命館小学校設置  
準備室長を経て、現在に至る。

紀を生きる子供たちを支える力とは  
何かを考え、「立命館小学校の四つの  
柱」としました。その一つ一つが、子供  
たちの将来に大きな意味を持つことと  
しよう。

まずは、「確かな学力形成」です。四  
つのうちで最も太い柱です。低学年の  
段階では、読み・書き・そろばんの基  
本をしっかりとし身につけさせ、次の応  
用・発展の段階に備えます。モジュー  
ルタイム(毎日三回各十分間。書き取  
り・辞書引き・暗算等の基礎的スキル  
を鍛える)や、寺子屋の時間(授業内容  
の復習をする)に、先生方の手作りの  
教材を使って基礎学力の定着を図って  
います。授業時間数も、公立小学校の  
標準時間数の約一・三倍を確保してい  
ます。土台として鍛錬された学力の上  
に、他の多様な能力がバリエーション  
として積み重なっていくのだと考えて  
のことです。

二つ目の柱は、「真の国際人を育てる  
教育」です。子供たちには、国際的な感  
覚や素養をきちんと身につけた人間に  
育ってほしいと願っています。ネイテ  
ィブの教員が身近にいる環境の中で一  
年生から英語の授業を行います。さら  
に、立命館アジア太平洋大学(APU)  
の学生に協力してもらうなどして、異  
文化理解を深めさせるとともに、日本  
文化についても十分な知識を伝えるよ

うに取り組みます。

三つ目は、「豊かな感性を育む教育」  
です。陶芸家として名のある先生のも  
とで陶芸に取り組んだり、校内の本格  
的なホール「アクトシアター」で一流の  
芸術に触れる、あるいは演じてみるこ  
とで磨かれるものもあるでしょう。「メ  
ディアセンター」での読書も力になる  
はずです。

そして四つ目に、「高い倫理観と自立  
心を養う教育」があります。立命館の  
建学の精神である「自由と清新」を踏  
まえた道徳の授業「立命科」に加えて、  
「ハウス制度」という異年齢集団活動を  
通じて、仲間を率いる経験させたり、  
フェアネスの精神を学ばせたりしたい  
と思っています。

本校には、学祖・西園寺公望が揮毫  
した「培根達支」の語を刻んだ石碑が  
あります。これは、中国の哲学者朱子  
の編纂による書「小学」の一節に基づ  
く言葉で、「大成するために、生き方  
の根本と学びの基礎をしっかりと培う  
ことが重要である」ことを説いていま  
す。いま申し上げた四つの柱に則り、  
「培根達支」の精神に満ち溢れた学校に  
育てていきたいと考えています。

——「鍛える」という言葉が印象的だ  
ったのですが、それは立命館中学校・高  
等学校へと続く一貫教育期間を通じて  
のポリシーですか。

後藤 ◆立命館では、小学校から高等学  
校までの十二年間を四年間ずつの三ス  
テージに分ける「四・四・四制」の一貫  
教育を行います。少なくとも小学校四  
年生くらいまでは、鍛えるという言葉





が最もふさわしいでしょう。初めのステージの児童は、努力が成果として表れることに喜びを感じて勉強します。その後、反復練習によって鍛えれば鍛えるほど伸びます。

次のステージ、五年生以上になると、それだけでは満足できなくなるはずです。鍛えることに加えて各教科内容の深い部分にまで導く指導が必要です。そこで、全教科について教科担任制をとり、専門の先生が授業を行う予定です。そして最終ステージの生徒たちは、具体的な進路目標を実現するため、いっそう高度な学習や経験に取り組むことになります。

——立命館小学校が、学力、いわゆる知育を、あえて目標の前面に出されたのはなぜですか。中学校・高等学校においても「学力アップ」が最重要課題になりますか。

後藤 ◆まず、「学力」をどう捉えているかをお話ししましょう。「学力」と「生きる力」を対比する向きもあるようですが、私はこれらが別のものとは思っていません。児童・生徒は、学力をつけることで自信を持ち、たくましくなっていくのです。学力は当然、生きる力に転化していくのです。「生きる力を育てる」と言いますと、どこかに甘さが残りますね。そういう曖昧さは避けたいのです。したがって、小学校でも中・高でも思い切って「学力向上」を前面に出し、将来を切り拓こうとする子供たちを支えたいと考えています。

立命館中・高でも、かねてより学力向上のために大いに努力してきていま

す。いわゆる受験学力とは違う、自分の将来の目標の実現をモチベーションにした学力形成ですが、実際に「スピーサイエンス」など最先端の教育によって成果を上げています。もちろん今後もカリキュラム開発を続け、更なる向上を目指します。

## 日本一の小学校に

——学力向上のためのメソッドに定評のある陰山英男現副校長や、脳科学研究の第一人者である川島隆太東北大学教授など、学園の内外を問わぬ英知を積極的に取り入れた学校づくりをなさっていますね。

後藤 ◆子供たちのためになるならば理論・手腕・教材・システムなど、何でも食欲に取り入れようと思つてのことです。先生方も、優れた実践家として名立たる方々ばかりで、お願いをして全国各地から来ていただいた先生がほとんどなのです。

——と言いますのは、さきほど申し上げた「四つの柱」を、子供たちとの係わりにおいて実現するのは教師です。本当に力のある教師が実践しなければ、題目だけに終わってしまいます。進んだ教育施設やシステムもさることながら、それを使って子供たちの力を引き出すことができる先生が不可欠であり、そのような方々に集まっていたいただくための努力は惜しみませんでした。

——立命館小学校の教育を社会に問うという意気込みも持ちですか。  
後藤 ◆もちろんです。私たちは日本一

の小学校になろうと思つています。「立命館にこれまでになかった小学校を作りました」などというレベルではないのです。日本の今の初等教育に新しい風を吹かせたい。初等教育のあり方を変えることもできるかもしれない。そのくらい素晴らしい教育の場を作り上げていきたいと思えます。

本校のこのような意識に基づいた取り組みが、児童たちの進学先である立命館中学校・高等学校における中等教育のいっそうの変革を促すことになり、ひいては大学の教育をも変えていくでしょう。そのようなエネルギーを発することができるとは、たいいものです。

——なるほど。立命館小学校の目指すところや、それを実現するための人材・システムなどがしっかりと整っていることがわかりました。単に私学だからできるのではなく、立命館学園の総合力の



賜と言える部分はどんなところでしょうか。

後藤 ◆立命館学園の長い歴史の中で、努力の蓄積、特に社会に開かれたスタンスから受ける恩恵は実に大きいです。例えば、本校ではレゴジャパン株式会社や、日本ヒューレット・パッカード株式会社と提携しています。両社が開発した先進的な機器や教育用プログラムの提供を受け、こちらはその実践の場を提供するというわけで、いわば産学連携ですね。立命館大学があつてこそ持てる発想です。本校の教育に協力いただける、各界著名人の方々と、人脈も然ります。また、情報システム環境も、大学での経験を活かしたノウハウが「コミュニケーションルーム」などに反映されています。立命館学園内の各校が、教育・研究の過程で様々なことを試していますが、それが学園全体の、もちろんこの小学校にとりましても大きな力になっていることは間違いないと思います。

——立命館小学校一期生の子供たちに、今後どのような活躍を期待なさいますか。

後藤 ◆入学式で総長が、「この中から将来の立命館総長が出てほしい」とおっしゃいましたが、私たちみんながそれを願っています。けれども世界は広いのですから、それだけで満足してはいけません。様々な場面で、「さすがに小学校から立命館で学んだ人だけあるな」と一目置かれ、ひいては各界の中核的存在になってほしい。そのために、鍛えますよ。



# 写真で見る立命館小学校

## 📷 ロボットの部屋

レゴジャパン株式会社との提携プログラムを実践する教室。子供たちは宇宙ステーションに見立てたロボットをレゴの部品を使って組み立てる。そしてそれを動かすためのコンピュータプログラミングも行う。1年生から「ロボット科」の授業がある。



## 📷 コミュニケーションルーム

海外の提携校とインターネットで結んで遠隔授業等を行うほか、最新型IT機器の利点を活かした個別学習の場ともなっている。パソコンの液晶画面は手書き入力や持ち運びが可能。児童一人ひとりの計算や漢字書き取りの結果を記録してつまずきを把握、きめ細やかな指導につなげる。



## 📷 普通教室（オープンスペース型）

廊下に壁がなく、開放感あふれる教室。前室部分には開閉自在なガラスの開き戸がある（画面右端）。さらに手前、撮影者の立ち位置が廊下。隣のクラスの気配も感じられるはずだが、児童たちは自分の授業に集中している。



## 📷 電子情報ボード

コンピュータと連動している。例えば教科書のページを表示させると、ワンタッチでのページめくりや、機械に音読をさせること、新出漢字の書き順指示などが簡単にできる。教材提示に要する時間の大幅な節約になり、その分、内容の濃い授業ができる。教員がパソコンで作成したオリジナルコンテンツも表示できる。



## 📷 英語の授業

ネイティブの教員1名、日本人教員2名がチームで指導していた。友達の名前や好みなどを尋ねる「インタビュゲーム」を。

## 📷 博士の部屋

日本ヒューレット・パッカーード株式会社との提携による教室。教育用ソフトウェア「スクイーク」を使って、児童がプログラミングなどを行う。



前任校は、北海道の、全校児童十二人という小さな学校でした。はるかに多くの児童と接する今、子供たち同士のつながりが生み出す力の効果を感じ、それに助けられてもいます。

母校立命館大学での学びや経験を、この立命館小学校での教育に活かせることが嬉しいです。私は「自由と清新」という建学の精神も、末川博名誉総長の「未来を信じ、未来に生きる」という言葉も好きなので、この心意気を発揮しつつ、子供たちを、様々なことにチャレンジできる視野の広い人間に育てていきたいと思っています。



廣岡 裕子 先生  
(’01産社)  
1年S組担当

子供たちのやる気も能力も高いことに驚いています。二十二年間の教師生活で培ってきた私の理想を、ここでは満足のいく形で実現でき、子供たちはそれを存分に吸収してくれるのです。

長らく「生活科」の研究をしています。久々に低学年を担当しましたので、自然観察などの実践が楽しみです。立命館小学校のカリキュラムに私自身の持ち味を加えて、「立命館の長谷川が行う教育」の色を、しっかりと出していきたいと思っています。



長谷川 昭 先生  
(’84経済)  
2年R組担任

立命館校友教員の声





### 伝統文化室

茶道・華道・礼儀作法など、日本の伝統文化を学ぶための教室。仕様や材質にまでこだわり抜いた、まさに本物の和室。



### アクトシアター

全260席の本格的芸術ホール。舞台奥のスクリーンは映画館と同じ仕様。一流の演奏や名画を鑑賞するだけでなく、児童が舞台に立って発表する機会も大切にする。



### ハウス活動室

学年縦割りのグループ「ハウス」の活動を行う教室。児童たちは6つのハウスのいずれかに属している。ランチルームとしても利用される。



### メディアセンター

3万冊所蔵可能。3クラスが同時に利用できる広くて心地よい図書館。書架や机は子供たちが進んで本を手にとれるように、デザインや素材、配置に工夫が凝らされている。



### 図工の授業 (図工室)

コチョウランの花を熱心に模写している。



標札の意匠も美しい



### 放課後のひとこま

友達と別れ難く、談笑する児童たち。遠方から通う児童もいるが、「PiTaPa(ピタパ)」導入駅を通過することに保護者の携帯電話にメールで連絡する安全システムがとられている。



### 給食の時間

この日は教室でランチをとっていた。行儀良く食事をする児童たち。



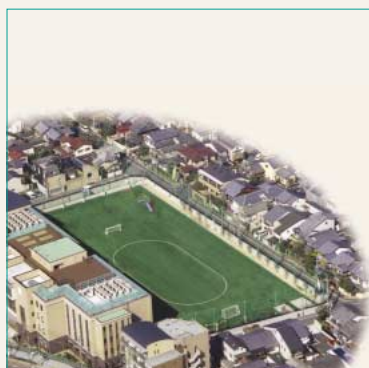
### 体育館

校舎2階から4階までの吹き抜けになっている。上階は観覧席。フロア後方(写真左手)にも可動式観覧席を備えている。



### グラウンド

全天候型の人工芝を敷き詰めてある。



【お問い合わせ先】  
立命館小学校事務室  
電話 075-4967777  
<http://www.ritsumeia.cjp/primary/>

■一貫教育進学先  
立命館中学校・高等学校

■課外活動(アフタースクール)  
学校内外の専門家が、ヴァイオリン、陶芸、茶道、ゴルフ、ホッケー等を指導。

■指導体制  
児童十五名に一名の教員体制。音楽・図工・体育は各学年とも専科教員が、五年生以降は全科目を専科教員が指導予定。

■総授業時間数  
現行学習指導要領における標準時間数の約一・三倍。土曜日隔週授業。

■教職員数  
三十八名

■学級数・規模  
各学年四学級・一学級三十名  
※現在、一・三年生が在校

■所在地  
京都市北区小山西上総町22  
(地下鉄北大路駅下車徒歩三分)

### 【立命館小学校概要】

# 明石文雄

さん(72文)

## 西陣のDNAを活かす

川島織物セルコン市原事業所。工場内で一際目を引くのが、幅二十四メートルもの「綴れ織大機」である。横一直線に十数名の織り職人が並び、肅々と作業している。この機で先頃まで立命館小学校の綴帳が織られていたそうだ。別の一面では、美しい帯が手織りされ、また別の扉の奥では、祇園祭・長刀鉾の水引幕復元のための下絵描きが行われていた。これらの仕事を統括・指揮しているのが明石さんである。

京都迎賓館藤の間(晩餐室)綴帳壁面装飾「麗花」(原画:鹿見喜陌画伯、写真提供:(株)川島織物セルコン)



**明石** 西陣で生まれ育ちました。家は糸繰りという、機織りの準備段階の仕事をしています。戦前は織屋でしたので、織物の世界のDNAを持っているといえますが、まあ、門前の小僧のようなものです(笑)。

三回生の年に大学紛争が始まり、奈良本辰也先生や林屋辰三郎先生などの看板教授が軒並み辞めてしまわれたこともありまして、一年間休学しました。その間に各地のお寺や、美術館・博物館をずいぶん回りまわした。美しいものを見る目は、あの頃に養われたと思います。その間に得た感覚が、今大いに役立っているということですね。

**明石** デザイナーが描いた図案を、どのような織組織(注:経糸と緯糸の組み合わせ方の帯に織り上げるか、どんな色にするかを決める作業です。織物の「設計」という用語が意外ですか? 立体感をどの部分にどの程度つけるか、糸の組み合わせ方をどうするのか、例えば太めの糸を一本だけ使うのか、あるいは細い糸を数本並べて織るのか、といったことです。それを使い分けることによって見た感じや風合いに変化をつけられるのです。特に紋織の場合は、ベースになる組織の上に文様を乗せていくために糸の動きが複雑になりますので、かなり数学的な思考が求められます。

経験を積んでからは、帯の図案を見て各々の着用対象年齢・用途・価格を判断する仕事まで任せましたが、これは、なかなか難しいものですよ。



長刀鉾綴織見送幕「朱地雲龍波涛図」(写真提供:(株)川島織物セルコン)

## いにしえ人との対話 — 祭礼幕復元 —

祭礼幕や美術工芸織物の仕事に携わるようになったのは十年ほど前からで、今ではこちらに軸足を移しているそうだが、七月 祇園祭の鉾立てが始まると、新しく納める幕の披露目に向けて、山・鉾に実装しての最終チェックに忙しくなる。

**明石** 祭礼幕は、新調の場合といわゆる復元の場合があります。一枚につきおよそ二年の時





# 格調高い織物に 京のこころをのせて



岩戸山下水引幕の試し織りを手に

間がかります。国の文化財などの繊維品の保存のために同じものを作り直すのが復元ですが、加えて、伝統的な製作修理技術の継承という目的もあるのです。

復元は元の古い幕をよくよく調べることから始めます。糸の種類や織りの組織を調べ、褪せる前にはどんな色であったかを推定します。昔の人の高度な技には本当に感心しますよ。調査が終わると、織の技法に応じて元の幕の文様を写した下絵（綴織・刺繡の場合）あるいは紋紙（紋織の場合）を用意し、糸を染めにかかります。

織の技法、組織や文様は、できるだけオリジナルのものに忠実に再現しますが、素材も含めて全てを元通りにというわけではありません。蚕と生糸の種類が昔とは違いますし、天然染料よりも化学染料を用いたほうが将来にわたって長持ちします。そして明らかに昔の織り職人が文様を間違えたと思われるアンバランスな部分は修正します。

復元された幕は、原則的に「元の幕が出来上がった時の状態に限りなく似たもの」です。山鉾町の皆さんが長年親しまれた幕に比べてぐっと鮮やかな色合いになります。長

刀鉾の見送幕などは、私としては抑え目の色調に仕上げたつもりだったのですが、華やかだと驚かれました。

興味深かったのは岩戸山の水引幕です。これにはたくさんの刺繡が施されていました。しかし元々は平らな紋織の幕であり、刺繡は過去の補修作業において被せられたものだとわかりました。これは顕著な例ですが、どの幕にも多かれ少なかれ補修の痕跡が歴史とともに積み重なっていますから、いつの状態まで遡って元に戻すかということも重要です。結局、この岩戸山の幕は、元々の通りに紋織で復元しました。町内の長老の方でさえ刺繡の幕しかご存じないわけですから、出来上がった際には、皆さん本当にびっくりなさいましたよ（笑）。

## 表現にこだわり抜く — 京都迎賓館壁面装飾新調

美術工芸織物新調の分野での最も大きな仕事は、京都迎賓館藤の間（晩餐室）の綴織壁面装飾「麗花」（原画：鹿見喜陌画伯であった。豪華絢爛、十六・六×三・一メートルというスケールだ。京都の文化と技を凝縮した織物を、明治期以来皇室や政府関係に納めてきた同社にとって、更なる普れをかけた仕事であった）。

**明石** これには大いに思い入れをもって臨みました。新調の場合、画家の先生が表現なさりたいことをよくお聞きして、原画をどのよう織物に置き換えていくのかを考えます。色調も藤の間の場にふさわしいように微調整し、染めた糸は四百色。それらを撚り合わせて計一千色の糸を作りました。

## Fumio Akashi



明石文雄さん

- 1947年 京都・西陣に生まれる。
- 1972年 立命館大学文学部日本史学専攻卒業。  
株式会社川島織物入社。呉服事業部製作部に  
て帯地の開発業務に携わる。
- 1981年 同事業部日本橋営業所にて帯地の営業を担当。
- 1986年 同製作部へ戻り、帯地開発、生産管理を行う。
- 1994年 呉服・美術工芸事業部製作部長に就任。帯地  
に加え、緞帳・祭礼幕の開発・生産を統括、  
現在に至る。
- 2001年 祇園祭山鉾連合会染織品調査員。
- 2003年 祭屋台等製作修理技術者会刊、『祭屋台等製作  
修理技術記録 染織品の部』の編纂に携わる。

### ◆ 最近の主な実績

#### 【壁画・緞帳等】

- 京都迎賓館藤の間（晩餐室）綴織壁画装飾「麗花」、  
同・藤の間羅織几帳（2005年）
- 国立文楽劇場綴織緞帳（2004年）
- 立命館小学校体育館、同・アクトシアター綴織緞帳  
（2006年）

#### 【祇園祭山鉾懸装品】

- 南観音山綴織下水引幕「飛天奏楽」新調（2002年）
- 岩戸山紋織下水引幕「金地鳳凰瑞雲に波文様」復元  
製作（2004年）
- 同・刺繍二番水引幕「緋羅紗地宝相華文様」、綴織三番  
水引幕「紺金地雲巴木瓜文様」復元製作（2005年）
- 長刀鉾綴織見送幕「朱地雲龍波涛図」復元製作  
（2005年）

\* ほか、全国各地の祭礼幕を多数手がける

 <http://www.kawashimaseikon.co.jp/>

「麗花」には全部で三十九種類の花が描かれています。例えば一言で菊といっても何通りもの形があるので、実際には数はもっと多いですね。それらを一つひとつ試作してお伺いを立てます。すると「白い花はなるべく凹凸を抑えて、色の濃い花は立体感を持たせて」といった具合に指示が出ますので、直してまたお見せします。こうして、OKが出た部分の本番と別の部分の試作を並行して織っていきます。

無地だと思っていたバックに、ススキなどの地紋が入ることになりました。緯糸の色によって文様をつくる綴織で、どうすれば地色だけで地紋を表現できるのかと悩みましてね。けれども経験の中から解決の方法は出てきます。綴織は文様と文様の境目で糸を折り返すので、間に必ずわずかな隙間ができます。この隙間がつくる凹凸の陰影を利用することです。うまくいきました。

出来上がりが原画の五倍ものサイズになることによる問題もありました。例えば藤の花なら原画にはない一つ一つの花の萼まで、紫陽花ならば四枚の花弁を、丁寧に描き込まな

ければ絵になりませんでした。下絵の担当者にぜひぶん苦勞をかけた。織り上がった工場の壁にかけてみたときの感動は、言葉にできません。かけた手間の一つが輝いて見えました。一年が経ち、メンテナンスも兼ねて京都迎賓館を訪ねてみしたら、お納めした直後よりもさらに素晴らしいになっていました。障子越しの午後の光に照らされた「麗花」の美しさが、今も目に焼きついています。

**品格こそ命**

世界のトップレベルと言われる日本の織物。その奥深さはとても語りつくせるものではない。その中でも最高級のもを生み出すために日々心を砕く明石さんである。

**明石** 織物は、四方八方どこへでも糸を渡すことができないなど、実は表現に種々の制約があるのです。しかし、それが逆に織物独特の品格を生み出しています。「織物の価値は品格の高さにある。格調高く仕上げたい」

と、私は常々思っています。

平安京建都以来の伝統と技術の粋を集めて、ときに採算よりも表現への熱意を優先することも許されるのは幸せなことです。織り職人も私も、仕事なのか趣味なのかわからないことをさせてもらっているとお申しすが、ここまでくるともう、趣味でなければできないといえますか。笑。有難いと思います。ただ、我々がいくら頑張っても表現できないものが一つあります。時の積み重ねによって醸し出される落ち着きです。歳月の持つ力には勝てませんね。

※織物の技法等の解説は  
川島織物セルコン祭礼幕サイト  
<http://www.festa-kawashima.com/>  
を参照下さい。

\*1 紋織（もんおり）…平織・斜織など各種の織組織を組み合わせ、紋紙（パンチカード）とジャカードにより文様を織り出す技法。  
\*2 綴織（つづれおり）…織下絵に従い、経糸の部分部分をすくい取りながら、緯糸を絵を描くように織り込んで文様を表現する技法。



# 窓の師恩

恩師の近況や人となり、思い出を、教え子が紹介します。



**戸木田嘉久**  
名誉教授(経済学部)

- ときた よしひさ
- 1962年～1989年
- 労働問題・労働組合論

## 先生からの一言

今年で定年退職から17年、82歳を迎えました。受講生やゼミ生だった皆さんも、それぞれの分野で中堅として活躍のことかと思えます。一日一歩、これからも困難に立ち向かい前進して下さい。

久々に戸木田先生にお会いできたのは、一九九八年十一月に開催された経済学部創立五十周年記念式典後の教室においてです。一九六九年入学生と同窓会として「びわこ・くさつキャンパスで会おう」と呼びかけをし、先生方にもお声かけをさせて頂いたからです。先生は少しもお変わりなく姿勢もきりつとし、講義を今から始められる感じすら致しました。その後、先生には、数年に一度開催の同窓会には必ず出席して頂いております。

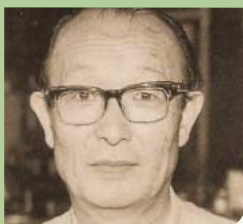
入学試験を衣笠で受けた六九年入学生は、入試問題用紙が手書き印刷と言う後にも先にも無い共通体験をし、一回生のほとんどを嫌でも学園紛争の中で過ごしました。手書き用紙の理由について退任後にお聞きしたのですが、直前に入試問題の所在が確認できない状況があり、大学としては緊急の処置と対策がとられたのだそうです。諸先生方の急ごしらえの入試問題により傾向が変わり、何とか入学できたのだと、同窓生は互いに納得し合っております。私の場合、入学そして卒業できたのは戸木田先生のお陰であり、まさしく恩師です。

ゼミでの勉強は、学園紛争で大いに勉学をサポートしていたので一同極めて熱心に取り組みました。先生には本当に熱心にご指導頂きました。冬の信州白馬へのゼミ旅行にもご参加下さり、楽しいお話を聞かせて頂きました。先生の講義が迫力あるのは、三井三池労働争議の現場で培われた経験に裏打ちされた「労働組合運動理論」によると思っています。当時の学生は、押しなべて先生に魅力を感じて大学を選び、ゼミを選んだものです。先生には、これからお元気で過ごし下さり、私たちの会合にお顔を見せて頂きたいと思っています。

## 教え子

**太田公夫**

(元)経済・旧姓中村記  
薬剤師・薬局経営



**林 暁**

名誉教授(理工学部)

- はやし あきら
- 1960年～1992年
- 高分子化学

## 先生からの一言

大学は自分で学ぶ所、教師はその手助けだ。その為に教師と学生との接触と会話が重要と考えて教えてきた。時代や環境が変わっても、努力や勉学の必要性は変わらない。初心を忘れずに頑張ってください。

卒業後三十年が過ぎた。化学科高分子化学研究室は多彩であった。林先生から学んだ事、それは「よく遊び学び、そこから人脈をつくれ」につきる。人との出会い、付き合いを特に重んじられる先生であった。研究室では全員一丸となり、それを実践した。セミナーハウスや衣笠山での授業は、気分転換、親睦の絶好の場であり、ボーリングにダンスパーティー、ドライブ、野球と多種多様であった。隔年開催される先生ご夫妻を囲んでの「立高会(同窓会)は、諸先輩からの当時は驚異させる話題でおいに盛り上がり、貴重で楽しいひと時である。高分子化学研究室の歴史を顧みる絶好の場である。

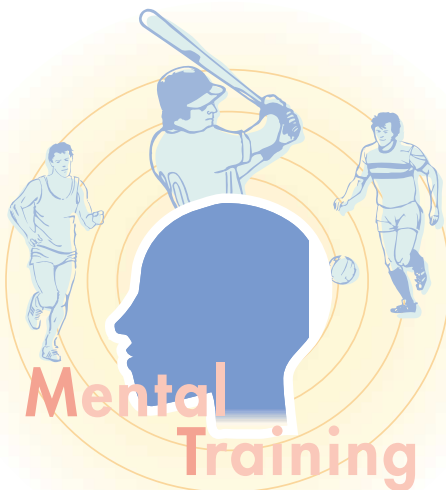
輪説会での楽しみは先生の副読本であった。いつの授業も先生の話が主役である。なかでも液晶理論を学びつつ、その応用から発した壁掛けテレビの話に興味をひかれたものである。そんなに軽い薄いテレビが可能かと全員で議論したものである。あれから三十年、わが家にも一台、壁掛けテレビが鎮座している。

先生はますますご健勝で、今では「歴史を科学」されている。私自身起業して二十余年。現在びわこ・くさつキャンパスにおいて林先生直伝のスピリッツを痛感しながら人脈と共に挑戦中である。次世代の人たちにその大切さを伝える日々である。かけがえのない人生の師である。ヤクルト古田監督の一年目、おそらく阪神が初連覇するであろう記念の年に「恩師の窓」に投稿できたことを光榮に思っている。

## 教え子

**久保田和孝** (元)理工記  
(移)京都有機化学研究所代表取締役





# メンタルトレーニング

経済学部 佐藤善治 教授に聞く  
ストレスマネジメントのスキル

メンタルトレーニングとは

Q

**A** 運動のパフォーマンスを最大限に引き出すために身体各部の筋力や持久力を鍛えたり、筋肉をスムーズに動かすためのスキルを身につけるトレーニングを「フィジカルトレーニング」と呼ぶのに対し、緊張による神経の興奮や不安・懸念といった不愉快な思考など、一般に「あがり」と呼ばれる精神的ストレスをコントロールし平常心を保ったり、自分のモチベーションを常に高いレベルで維持させていく「心理的なスキル」を鍛えるトレーニングを「メンタルトレーニング」と呼んでいます。

メンタルトレーニングが重要視される背景は

Q

**A** オリンピックを例に取った場合、選手は大きなストレスの中に身を置いています。その原因のひとつはスポーツの高度化です。さまざまな近代技術がフィジカルトレーニングに導入され、競技レベルは回を増すごとに高くなっています。しかし、どれだけ激しいトレーニングを重ねても選手にとって完璧ということはありません。人間は何らかの原因で思いもよらないミスを起こします。トレーニングを重ねれば重なるほど選手は失敗を恐れる心理的ストレスと戦わなければなりません。

ければなりません。

また競技の結果に対する付加価値が非常に高くなってきたことも挙げられます。今やスポーツの商業化は進み、オリンピックも例外ではありません。成績次第では地位や名譽とともに大きな経済価値を手にすることが可能です。代表選手には選ばれるかどうかでその後の生活にも大きな変化をもたらします。またトレーニングに多額の資金膨大な時間と労力を投入している例が多くある中、選手は国民やスポンサー企業の期待を一身に背負い、期待に応えなければならないというストレスにさらされます。

一九六四年の東京オリンピックでは、既にソ連やイタリヤなどが心理学の分野の研究者を同行させ、神経的な症候を示している選手のケアに当たっていますが、オリンピックの発展とともにメンタルトレーニングの重要性も増してきたと言って過言ではありません。

メンタルトレーニングはどのように進化を遂げてきたのでしょうか

Q

**A** これまでの研究の中でスポーツ選手に必要な「心理的スキル」が確立されてきました。大きく①イメージのスキル、②心理的エネルギーの管理、③ストレスの管理、④注意のスキル、⑤目標設定のスキル、に分けられますが、これらのスキルは互いに密接な関係にあり、それぞれのスキルを強化することで、選手は総合的なメンタルの強さを手に入れることが可能です。





オリンピックやサッカーのワールドカップをはじめとする世界的なスポーツ大会では、選手たちに国民の大きな期待がかかる。

プレッシャーの中、選手が最高のパフォーマンスを発揮するには

フィジカルの充実とともに、大舞台でも揺らぐことのない強靱なメンタルが不可欠である。

今回は「メンタルトレーニング」に焦点を当て、

ストレスに対するメンタルのマネジメントについて

スポーツ心理学を専門とされる佐藤善治経済学部教授にお話を伺った。

けるコーチングとビジネスでのコーチング

A

ここ数年で「コーチング」という言葉がビジネスでも定着してきました。スポーツにおける

メンタルトレーニングは  
ビジネスにも  
有効でしょうか

Q

例えばイメージのスキルを伸ばすトレーニングは自身自身の競技での成功のイメージを何度も頭の中で繰り返すため、注意集中の焦点をより明確化し、無理のない力を高め、リラックス状態をもたらす、ストレスをマネジメントする力を伸ばすことに繋がります。またストレスのマネジメントスキルを養うことによって、より大きなストレスを心理的エネルギーに変えプラスに作用させることができるようになり、今以上に挑戦的にかつ現実離れしていない目標を自ら設定し達成するための内発的モチベーションを持続させることが可能になります。映像と瞑想に呼吸法などのリラクゼーションを取り入れたイメージトレーニングをはじめ、各競技の性質に合わせて各々の心理的スキルを伸ばしていく方法が開発されています。

トレーニングの過程では、コーチが適切な指導やアドバイスで選手の心理的スキルを高めていくことが重要です。大舞台で結果を残す選手はコーチの指導により「心理的スキル」を磨き、最終的に自らの力でモチベーションを高めていくサイクルを作り出すことに成功しています。

には共通する点が数多くあると思います。スポーツ界で実績を上げた監督やコーチにビジネスセミナーでの講演依頼が多いことはそのことを物語っています。例えば営業マンを選手と置き換えた場合、彼らはどうすれば売り上げが上がるかを、課題に直面する運動選手と同じような複雑な心境で考えています。このとき彼らに「心理的スキル」に関してある程度の知識と経験があれば、業務に対してもそれが有効に働くと思います。消費者が喜んでくれるイメージを高めてセールスストックに変えていったり、どこに顧客が喜ぶポイントがあるか会話の中で注意を払ったり等々、適度な目標設定を行い、それをクリアすることで自信を持たせ、最終的には自分でストレスをマネジメントしモチベーションを持続する力を身に付けさせる。個人の心理的スキルに対する意識と指導者のコーチングがうまくマッチすれば、選手、すなわち社員のパフォーマンスは継続的に上昇していくことに成功するでしょう。



Profile  
さとう よしはる

立命館大学経済学部 教授  
【専門分野】  
スポーツのサイエンス・  
スポーツ心理学

- 主な著書・論文
- 『一般教育としての保健体育の改革』  
(単著、1992年、『大学と教育』東海高等教育研究所)
- 『大学体育・スポーツ改革を考える』  
(単著、1994年、『立命館文学』立命館大学人文学会編)

## 出会いはたぶん 必然

石黒美知子（'96 国関）

人との出会い、人との繋がりが、それは偶然ではなく必然のこと……。出会いを通して日々成長していると思っています。しかし、心を痛める出来事に遭遇する事もあります。そんな時には、深呼吸をして、悶々、沸々としている思いからずっと自分の身を引き、冷静になった自分と対話します。この出来事は私に何を投げかけているのだろうか……。どんなメッセージを与えようとしているのだろうか……。そう考えるうちに自分の悪かった所や、欠けている所がわかり、少しずつですがマイナスだった感情がプラスに変わっていくのがわかります。そして問題が解決した証として「ありがとう。またこうして成長できました」と感謝します。こうした処世術は、私を今まで支えてくれた人々が教えてくれました。

ここで、人との繋がりがって不思議だな、と思った出来事を少し。私がヨーロッパを周遊していた時の話。ドイツ、ロマンティック街道にあるローテンブルグで二ヶ月ほど滞在していた時に日本人の友達A子さんが出来ました。慣れないドイツ語に苦戦していた私をいつもサポートしてくれて、感謝感

謝の  
日々だ  
った訳です  
が……。その後  
イツを離れ、一路フラン  
スへ。パリを拠点に、朝は語学学  
校、昼はパリ散策、週末は周辺諸  
国を旅して回っていました。パリ  
では沢山の日本人に出会いました  
その中で今も仲良くしている友達  
B子さん、ドイツでお世話にな  
ったA子さんが、実は大親友だっ  
たと最近分かった。「必然的な繋が  
りを感じた訳です。分かったきっか  
けは、A子さんから届いた「ドイ  
ツ人と結婚してライブチヒに居  
る」という葉書でした。私がその  
後、B子さんに「友達（A子さん）  
がライブチヒに居て……」と言  
い、話が名前にまで及んだところでビッ  
クリ！A子さんはB子さんと大  
変親しかったのです。

今では、B子さんから派生して  
いろんな友達が出来ています。二  
年前よりパリ繋がりの三人：お菓  
子職人、オートクチュールビーズ  
職人、そして私、花職人で毎年十  
二月に東京の白金台「アヌッシュ」  
にてサロン形式の会を催していま  
す。毎年成長している自分たちを  
感じつつ、作品を発表出来る機会

をもてる  
事に感謝し  
ています。大事  
にしたい人がいる、  
私を大切に想ってくれてい  
る人がいる……。一切の出会いに感謝

### 校友会報に励まされて

水原 一（'98 経産）

私は現在三十一歳、統合失調症  
です。今までの人生の半分以上を、  
病魔に犯されて過ごしてきました。  
中学の時に発病し、高校、大学、  
と、自分が病氣であるという自覚  
の持てないまま、大切な青春時代  
を過ごしました。しかし、これを  
書いている今の私は本物の私です。  
好奇心旺盛で、読書にのめり込み、  
作詞・作曲・編曲を通して音楽活  
動に励み、精神病への理解を深め  
てもらったための講演会で話し、フ  
ルタイムではありませんが、仕事  
にも就いています。

こんな私が、振り返って一番後  
悔されるのが、立命館大学時代で  
す。あのような素晴らしい大学に  
入学出来たのに、その大部分が、  
病のために孤独で、目標もなく、  
講義に出ては、幻聴と妄想の中で  
内容がのみにくく、地の底を這う

ような心持ちで通学していました。  
あれほど自由な時間、無限の可能  
性、素晴らしい環境、ともに学ぶ  
同僚たちに恵まれながら、それを  
生かせなかった自分。真剣に生き  
ていなかった自分。

今、私は希望に、いや野望に燃  
えています。全身全霊を尽くして  
毎日を生きています。どうして自  
分だけが……。そんな想いは微塵も  
なく吹き飛んでいます。毎日が素  
晴らしい、生きていることが最大  
のチャンス。どうせ生きるなら最  
高の生き方をしよう！ 最高の人  
生を送ろう！ こう自分に言い聞  
かせています。そして自己啓発に  
取り組んでいく中で、発見した事  
があります。それは宇宙の本質は  
愛であるということ。この世に生  
きる我々にとって、最も重要で最  
も尊い真理である。私はそう考え  
るようになりました。

私の最終学歴は立命館大学経済  
学部です。その名に恥じぬよう生  
きたい。人生を切り拓いていき  
たい。そして誰よりも誇り高く、理  
想を掲げ、信念に燃えて生きたい。  
会報を読むたびにそう誓うのです。

#### 自由席原稿募集

校友会編集係まで原稿をお寄せくださ  
い。郵便・ファックス・電子メールの  
いずれでも結構です。送り先アドレス  
等は裏表紙をご覧ください。



## 創部六十周年を 迎えて

茶道研究部OB会「読茶会」

Dokuchakai

### 茶

道研究部は、戦前戦中の同好会が戦後一九四五年に部に昇格し、学芸総部の一員として誕生しました。

今春四月十五日には創部六十周年記念行事を、中川勝雄立命館常務理事のご臨席をいただき、アピカルイン京都で盛大に持つことができました。また記念講演会として、京都迎賓館主賓室を手掛けられた中村義明様（69経営）に「茶室の話」を聞かせていただきました。

創部以来、稽古場・読茶庵には複数の流儀が用意されていて、自分で流儀を選択して稽古をする方法をとっております。他大学ではあまり見られない運営方法で、他流儀と切磋琢磨しながら稽古を積んでゆくことにより創造性が養われてゆきます。これが特色であり伝統となっております。

私達OB会員は四百名ほどが全国におり、五年に一度は京都で記念行事を開催し、これに集うのを楽しみにしております。関西地方、関東地方それぞれ気の合った者が連絡を取り合い、食事会、旅行、ゴルフなど機会を作っては旧交を深めております。

学生は春、夏、秋に茶会をしておりますが、特に夏は遠征茶会と称して全国各地へ出向き、その地域の方とお茶を通して交流をしております。その時には我々OBはもちろん、校友の方もたくさん来ていただいております。

今年は八月二十七日に山口市の常楽寺で開催いたします。

私達は学生の課外活動を見守り、応援し、親睦を通して強い絆で結ばれており、発展する大学と共に歩めることに誇りを感じております。

◎読茶会ホームページ

<http://dokuchakai.web.infoseek.co.jp/>

読茶会会長 福田 勝（66経営）記



## 日中校友が 親睦深める

北京校友会

Beijings

### 北

京校友会の誕生から、はや四年が過ぎようとしています。会員数は三十数名ですが、メールアドレスなど所在が把握出来ているのは二十数名です。中国人と日本人の比率は、ほぼ半分ずつでしょうか。

去る四月十四日に、第一回の北京校友会「懇親会」を、市内の紹興料理のレストランで開催いたしました。この会は、年一回の「総会」だけでは、その間に帰国されたり新たに北京に来られる校友にとっては機会が足りず、また校友相互の親睦もいっそう深めたいという思いから、二、三か月に一度程度開くことにしたものです。

張海英会長（99院文）は、残念ながら体調不良のため欠席されましたが、八名が集まり、うち三名が初参加でした。その三名の方々は全員日本人で、日本大使館員、企業派遣の留学生、ご自身で起業された方と多士済々。中国の校友は大学教員、弁護士として活躍されている方が比較的多いようです。

日本から来京されていた福田章道先輩（63経営）にもご出席いただきました。ご連絡をいただきながらあいにく所要で欠席された方も二名おられ、共に最近北京に来られた新しい方です。今年から、毎月当地のフリーペーパー三誌に校友会の案内を掲載するようにした効果が、徐々に現れてきたようです。

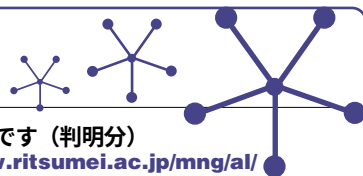
中日間の経済活動が活発になるにつれ、これからも新たに北京に来られる校友がますます増えるものと思われまします。私たちは五月二十七日にも歓談を楽しみました。今後はこのような「懇親会」（交流会）をいかに実りの良いものにしていくか、校友各位のご協力の下、精進していく所存です。

◎北京校友会連絡先アドレス [bj\\_rts@yahoo.co.jp](mailto:bj_rts@yahoo.co.jp)

北京校友会事務局 松本康男（71経営）記



# 校友会ネットワーク



本年3月中旬～6月上旬に行われた各団体の行事です（判明分）

\*詳しくは校友会ホームページをご覧ください <http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/al/>

## 都道府県校友会ほか

- 5/20 山梨県校友会総会（30名・ロイヤルガーデンホテル）
- 5/28 静岡県校友会総会（90名・ブケ東海静岡）
- 5/28 宮城県校友会総会（40名・勝山館）
- 6/3 岐阜県校友会新卒校友歓迎会（17名・ホテルグランヴェール岐山）
- 6/4 大阪地区新人歓迎会（60名・大阪市中央公会堂レストラン）
- 6/10 愛知県校友会新歓パーティー（70名・ザ・ワインバー）



山梨県校友会総会



静岡県校友会総会



宮城県校友会総会



大阪地区新人歓迎会

## 地域校友会

- 4/22 北海道室蘭支部総会（11名・「しらかば」）
- 5/13 兵庫県校友会西宮支部総会（50名・西宮市民会館）
- 5/20 天理わだつみの会総会（40名・ウェルカムハウスコトブキ）
- 5/27 京都春風会新人歓迎会（20名・中川会館4F校友ロビー）
- 6/3 奈良県校友会南和会総会（40名・橿原ロイヤルホテル）
- 6/4 広島県校友会北部地区支部総会（16名・芸北オーランド）
- 6/10 三重県中勢会総会（100名・プラザ洞津）
- 6/10 高槻・島本地区校友会総会（100名・たかつき京都ホテル）



北海道室蘭支部総会

## 職域校友会

- 5/13 八尾市役所「立八会」総会（40名・芦原旅館「まつや千千」）
- 5/28 滋賀銀行「比叡会」総会（140名・大津プリンスホテル）
- 6/1 西宮市役所「立朋会」総会（90名・西宮神社会館）
- 6/7 池田銀行「比叡会」総会（35名・ホテルアイボリー）

- 6/7 高槻市役所「槻立会」総会（50名・たかつき京都ホテル）

## 学部・学科校友会

- 5/14 応化会中・四国支部設立総会（25名・ホテルJALシティ広島）
- 6/2 建設会広島支部総会（60名・広島全日空ホテル）



応化会中・四国支部設立総会

## サークルOB・OG会

- 3/18 体育会創立55周年記念式典・祝賀会（450名・大津プリンスホテル）
- 3/25 会計学研究会OB会総会（47名・いろは旅館）
- 4/15 読茶会（茶道研究部OB会）60周年総会（40名・アピカルイン京都）
- 6/3 スポーツフェロー創設25周年記念式典・祝賀会（480名・京都全日空ホテル）

## その他の会

- 4/15 産社1971年入学Cクラス同窓会（23名・高雄観光ホテル）
- 4/16 百万遍寮友会総会（49名・石長松菊園）
- 4/18 ロータリー立命会総会（ホテル「嵐亭」）
- 4/29 志村ゼミ51年卒同窓会（いろは旅館）
- 5/13 法学部昭和47年度入学Iクラス会総会（11名・衣笠キャンパス）
- 5/14 ALL Rits スポーツ観戦交流イベント（80名・スカイマークスタジアム）
- 5/20 昭和43年数物卒同窓会総会（15名・BKC）
- 6/3 ウリ同窓会総会（80名・東華菜館）
- 6/3 91・92卒加藤直樹ゼミ同窓会（23名・ホテルセントノーム京都）
- 6/3 エース会総会（9名・奥津温泉「名泉・奥津荘」）
- 6/6 立命塾（30名・東京ドームホテル）



産社1971年入学Cクラス同窓会



ALL Rits スポーツ観戦交流 イベント



# 中国古箏奏者 伍芳さん('96産社)

アルバム「Jasmine Flower～中国歌物語」発売記念

## デビュー10周年記念コンサート 立命館大学にて開催

おなじみの伍芳さんが、母校への思いを込めて奏でる古箏の音。  
ますます磨きのかけられたステージをお楽しみください。

◆9月24日(日) 17:00開演  
立命館大学衣笠キャンパス 以学館1号ホール

◆チケット／一般前売:4,500円、当日:5,000円

※校友・学生用チケット(割引あり)の販売については、  
詳細が決まり次第校友会ホームページにてお知らせします。

問 合 先 校友会事務局 Tel.075-465-8120

東京・大阪 公演

●東京…8月25日(金) 18:30開演  
品川 GLORIA CHAPEL

●大阪…8月31日(木) 18:30開演  
中央公会堂 中集会室

◆一般前売:5,000円、当日:5,500円

■問合先:ミュージックハウス・モズ  
Tel.03-3481-0506



※最新CD  
「Jasmine Flower  
～中国歌物語」  
全14曲 3,000円  
好評発売中!

# All-Rits 立命館校友大会2006のご案内

年ごとに新しい仲間が加わる、1700名の大交流イベント。  
あなたもぜひご参加ください。

詳細は、決定次第校友会ホームページでお知らせし、  
校友会報次号(10月号)誌上でもご案内いたします。

校友会ホームページ <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/>

■日時:2006年11月4日(土) 午後5時スタート

※午後1時頃から学園祭プレステージ等も予定しています

■会場:メイン会場…ホテルグランヴィア京都(JR京都駅ビル)

関連イベント会場…JR京都駅ビル イベントスペース  
「室町小路広場」、「駅前広場」



## 二〇〇六年度 校友会幹事会報告

六月三日(土) 午後一時から、衣笠キャンパス以学館一号ホールにて校友会幹事会を開催した。百二十名が出席。  
長田豊臣総長による挨拶・学園近況報告に続き、山中諒会長を議長に議事を行った。

### 議決事項

●新卒幹事ならびに推薦校友の承認  
学部からの推薦に基づく以下の方々が、二〇〇六年度新卒幹事として承認された。  
法…高瀬典之氏 経済…中川賢司氏  
経営…森岡歩氏 産社…中嶋友樹氏  
国関…伊藤美菜子氏 政策…深尾知子氏  
文…大塚栄氏 理工…野田雄士氏  
また、推薦校友は次の方々。  
吉田義男氏(52経済入学生)  
山本茂行氏(70産社入学生)

### 報告事項

●二〇〇五年度決算・  
二〇〇六年度予算  
別表の通り。

### 副会長人事

死去された吉川勉氏の後任として、西村隆氏(63法・びわこ放送株式会社代表取締役社長)が就任。

### ALL Rits 立命館校友大会

本年十一月四日(土)、ホテルグランヴィア京都にて開催。

### 校友会館の 朱雀キャンパス移転

校友会館および校友会事務局は、本年秋に朱雀キャンパスへ移転する(九月中旬予定)。

### 校友会本部専門委員会 活動報告

総務・財務・広報の三つの専門委員会委員長より、活動のあらましが報告された。

校友会2005年度決算・2006年度予算案

| 科 目       | 2005年度決算額   | 2006年度予算額   |
|-----------|-------------|-------------|
| 前年度繰越金    | 13,583,884  | 19,150,455  |
| 会費収入 計    | 215,388,000 | 207,900,000 |
| 資産運用収入 計  | 1,650,956   | 1,850,500   |
| 大会収入 計    | 14,045,010  | 13,000,000  |
| その他収入 計   | 288,456     | 300,000     |
| 合 計       | 244,956,306 | 242,200,955 |
| 科 目       | 2005年度決算額   | 2006年度予算額   |
| 人件費支出 計   | 18,590,974  | 19,400,000  |
| 一般経費支出 計  | 31,777,791  | 34,550,000  |
| 組織強化費支出 計 | 39,585,733  | 44,500,000  |
| 事業費支出 計   | 61,351,353  | 81,200,000  |
| 特別会計繰出 計  | 74,500,000  | 54,500,000  |
| 予備費       | 0           | 8,050,955   |
| 翌年度繰越金    | 19,150,455  |             |
| 合 計       | 244,956,306 | 242,200,955 |

注)支出の部「2005年度特別会計繰出」として以下の通り執行いたしました。  
①終身会費積立金:¥70,000,000(積立金計:¥795,059,670)  
②会館建設基金:¥2,000,000(基金計:¥86,037,538)  
③名簿発行準備金:¥2,000,000(準備金計:¥19,738,480)  
④記念大会準備金:¥500,000(準備金計:¥5,101,888)

### 総務…西村義行委員長

主に校友会の計画・実行を中心に議論している。オールリッツと銘打ち、校友大会の開催規模は年々大きくなっている。学園と校友会が一体となったホームカミングデー形式や、関東・関西等の地域単位での大会開催など、様々な可能性を考慮して将来の校友大会のあり方を検討したい。

### 財務…本津純子委員(代理報告)

現在の校友会財政は健全。今後、在外校友や外国人校友の増加が見込まれる中で、さらに強い校友ネットワークを構築していくために、中長期的視野も持つて財務計画を検討したい。

### 広報…尾崎敬則委員長

年四回の会報「りつめい」発行。校友会ホームページでの情報発信を担う。校友の皆様には、「情報提供」を切に願っている。

二〇〇三年以降、「りつめい」読者の会を開催し、従来の組織的方法とは一味違った形で、校友会へのいざないを進めている。  
なお、幹事会終了後には、「堂本印象美術館」ならびに「立命館大学国際平和ミュージアム」の見学会が行われ、約六十名が参加した。

# ひろがる立命館ネットワーク

## —— 学園構成と教学展開を概観する

立命館学園は、広小路より衣笠キャンパスへ学舎を統合し、一拠点化が完成した後も連続的な改革によって国内外にひろがりを持つようになり、いまや2大学4附属高等学校3附属中学校1附属小学校、学生・生徒総数約46,000人を擁する総合学園となりました。2006年度は、立命館学園にとって大きな節目となる年です。立命館守山高等学校および立命館小学校を設置し、秋には京都の中心部JR二条駅前に「朱雀キャンパス」が開設の運びとなります。この特集では、立命館が今日の姿に育った足跡をたどりながら、各教育研究拠点の最新情報等をご紹介します。



### 国内ネットワーク 構築の経過と到達点



#### 衣笠一拠点化から

#### びわこ・くさつキャンパス開設

——一九八〇・九〇年代

今日の広がりを持った立命館学園は、主には一九八〇年代以降の改革によって作りあげられました。

一九八一年、衣笠キャンパス一拠点化を成し遂げ、総合大学としての確たる基盤を築いた立命館大学は、続いて教学の国際化・情報化・開放化などを目標に掲げ、改革を進めました。一九八七年の理工学部情報工学科増設、翌八八年の国際関係学部設置が大きな柱となり、国際化や高度情報化が進む社会への対応・寄与が大いに進展しました。

そして、理工学部ならびに研究科の抜本的拡充の実現のため、一九九四年にびわこ・くさつキャンパス(BKC)が開設されました。時代のニーズにあった教学分野を拡充するとともに、「社会に開かれた大学」として、産業界や官公庁との技術交流を進めようという理工学部の意向と、地域活性化や地元企業への技術貢献等の効果を期待した地元滋賀県・草津市の意向とが合致した結果でした。BKCにおける教学改革は一層進み、一九九八年には経済・経営の両学部も移転し、画期的な文理融合型のキャンパスとして生まれ変わりました。その後もBKCでの産官学交流や学際的教育は社会的に高い評価を受けつつ発展を続けています。



### 立命館アジア太平洋大学の開学と 大学院教学の拡充

——二〇〇〇年から現在

この頃、立命館学園全体の更なる国際化を進めるとともに日本の高等教育の国際化にも寄与するという課題が浮上してきました。そこで二〇〇〇年に、「学生の半分を世界五十ヶ国・地域以上からの国際学生とし、アジア太平洋地域の持続的かつ平和的な発展に貢献する国際的人材育成とアジア太平洋学の構築を目指す」というコンセプトの立命館アジア太平洋大学(APU)を、大分県別府市に開学しました。

一方、社会や経済の高度化・複雑化、グローバル化等を受け、高い専門能力を持った人材の養成や、職業人の継続教育・再教育に対する期待が急速に高まってきました。立命館学園は、既存の研究科を改革するとともに、法務研究科(法科大学院)などの多彩な高度専門職業人養成大学院を拡充しました(P.20の表参照)。この法務研究科、経営管理研究科および二〇〇七年四月設置予定の公務研究科(公共政策大学院)は、本年秋に開設される朱雀キャンパスで展開します。

APUも本年度より新たな段階を迎え、外国人学生の受け入れ拡大やさらに高度な教育・研究の提供のために、「APUニューチャレンジ」と銘打ち、新たな改革に取り組んでいます。

### 一貫教育システムの拡充

立命館学園は一九五三年に中等教育機関を立命館中学校・高等学校に統合して以来四十二年間は単独の附属校を擁するのみでした。しかし、次第に、二十一世紀の国際



# 立命館学園の教育研究拠点は、北海道から九州まで全国に広がっています。

凡例

①所在地、②設立年、③学生・生徒数、④(大学のみ)学部・研究科  
(2006年5月1日現在)



## 1 立命館大学 (衣笠キャンパス)

京都の西北に位置し、多くの名所に囲まれた、学問・研究の場に相応しいたたずまいの中にあります。「立命館大学国際平和ミュージアム」や日本ではじめての「孔子学院」もあり、2007年度には映像学部が設置が予定されています。学園本部も現在は衣笠にあります。

①京都市北区 ②1939年(広小路からの学舎統合・一拠点化の完成は1981年)  
③18,410名 ④学部:法学部、文学部、産業社会学部、国際関係学部、政策科学部、映像学部(※1)、大学院:法学研究科、社会学研究科、国際関係研究科、政策科学研究科、文学研究科、応用人間科学研究科、言語教育情報研究科、先端総合学術研究科、法務研究科(法科大学院)(※2)

(※1) 2007年度に設置予定。(※2) 2006年秋に朱雀キャンパスに移転。



## 2 立命館大学 [びわこ・くさつキャンパス BKC]

国際水準の「文理融合型キャンパス」の創造を目指し、常に新しい教育研究システムの開発に努めています。また、産・官・学・地域との連携による教育・研究や新産業創出などにも積極的に取り組んでいます。

①滋賀県草津市 ②1994年 ③17,085名 ④学部:経済学部、経営学部、理工学部、情報理工学部、大学院:経済学研究科、経営学研究科、理工学研究科、テクノロジー・マネジメント研究科(MOT大学院)、経営管理研究科(※3)

(※3) 2006年秋に朱雀キャンパスに移転。



## 3 立命館アジア太平洋大学 (APU)

約半数の学生・教職員が外国人という本格的な国際大学。英語・日本語を用いる「二言語教育システム」を導入しています。

2006年度からは、「APUニューチャレンジ」と銘付けた新改革に取り組むとともに、学部の枠を越えて複合的に学べる教育体系「インスティテュート」も始まりました。

①大分県別府市 ②2000年 ③4,752名 ④学部:アジア太平洋学部、アジア太平洋マネジメント学部/大学院:アジア太平洋研究科、経営管理研究科(MBA)



## 4 立命館中学校・高等学校

100年の歴史を数える伝統校。理数分野の最先端教育施設により文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール」に指定されています。びわこ・くさつキャンパスに専用施設を有し、大学とのコラボレーション授業や、大学教員によるレクチャー等の取り組みを進めています。

①京都市伏見区 ②1905年(中学校・高等学校とも) ③中学校:664名、高等学校:1,030名



## 5 立命館宇治中学校・高等学校

国際教育、外国語教育を積極的に推進し、文部科学省から「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」に指定されています。APUでのイマージョンプログラム体験など、新しい連携も行っています。

課外活動にも実績があり、2006年度からは(株)京都パープルサンガや京セラ(株)と組んで、世界水準のプロサッカー選手を育てる試みも開始しました。

①京都府宇治市広野町 ②中学校:2003年、高等学校:1994年 ③中学校:436名、高等学校:1,240名



## 6 立命館慶祥中学校・高等学校

立命館・APU両大学のみならず、東京大学・北海道大学をはじめとする有力国立大学への進学をも目標に教育しています。2006年度からは、より高い学力の習得を目標としたSP(スーパープログラム)コースを設定しました。

また、「使える英語」力の育成のために、ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングを実施し、グローバルな視野で環境・人権・異文化について学ぶ「地球市民」教育も実践しています。約400台のパソコンを有し、道内随一の情報教育環境を整えています。

①北海道江別市 ②中学校:2000年、高等学校:1995年 ③中学校:555名、高等学校:996名



## 7 立命館守山高等学校

立命館の高・大・院一貫教育のメリットを活かした文理総合型教育を展開しています。すべての生徒にハイレベルな理数系教育を施すとともに、文化・歴史への造詣など幅広い教養も培います。

BKCに近い立地条件を活かし、立命館大学と共同開発したカリキュラムを受講すれば大学入学後に単位認定する取り組みを実施。また、立命館大学やAPUと連携して大学レベルの教育を提供する「アドバンス・プログラム」や、五年間で大学・大学院修了を目指す「ファスト・トラック」制を導入しています。

2006年度、文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール」に指定され、2007年度には新校舎への移転、中学校の設置を予定しています。

①滋賀県守山市 ②中学校:2007年開校予定、高等学校:2006年 ③605名



## 8 立命館小学校

「確かな学力」「豊かな感性」「高い倫理観と自立心」「国際性」を身につけさせることを柱に、カリキュラムを構成しています。

高校までの一貫教育12年間を3つのステージに分ける「4・4・4制」を導入。第3期には各生徒の進路意識に応じて、文科学系、国際系、サイエンス系、医歯薬系のプログラムを実践します。

また、道徳「立命科」や異学年集団「ハウス活動」などを通して、立命館の建学の精神「自由と清新」を身につけて国際社会で活躍するリーダーとしての資質の育成も目指しています。

①京都市北区 ②2006年 ③368名



## 9 東京オフィス

学生の就職活動支援、東京における学園の総合窓口、校友とのネットワーク機能、社会的ネットワークの強化などを柱とした業務を行います。

また、東京では2003年度から「金融と法」東京講座といたった社会人を対象とした教育も行っています。

①東京都中央区八重洲 ②1999年



## 10 大阪オフィス

学生の就職活動支援、大阪における学園の総合窓口、校友とのネットワーク機能、大阪オフィス講座など諸講座の展開、社会的ネットワーク強化などの業務を行っています。「立命館アカデミア@大阪」として、経営管理研究科やテクノロジー・マネジメント研究科などの大学院の授業も展開しています。

①大阪府中央区北浜 ②1995年 ④大学院:経営管理研究科、テクノロジー・マネジメント研究科(MOT大学院)



## 11 立命館 朱雀キャンパス (2006年秋開設)

学園全体のさらなる発展と大学の街「京都」への地域貢献を果たすことを目指し、法科大学院や経営管理研究科などの高度専門職業人養成大学院と学園全体の中核となる学園本部が今秋移転します。

朱雀キャンパスは、世界と地域に開かれた「知の創造拠点」として、世界中で活躍する高度専門職業人を育成する拠点となります。

①京都市中京区 ②2006年秋 ④大学院:法務研究科(法科大学院)、経営管理研究科、公務研究科(公共政策大学院)(※4)

(※4) 2007年度設置予定。





社会にふさわしい初等中等教育のあり方や、高等学校と大学との接続が問われるようになりました。

一九八八年、立命館中学校・高等学校が北大路キャンパスから深草キャンパスへ移転、男女共学となりました。そして、一九九四年、新しい試みとして、学校法人宇治学園との合併により立命館宇治高等学校を設置しました。その翌年には学校法人慶祥学園と合併して現在の立命館慶祥高等学校を、二〇〇〇年には同中学校を設置。二〇一二年十月には立命館宇治高等学校が新キャンパスに移転。〇三年には同中学校が開校しました。そして今春、滋賀県守山市の協力のうえで立命館守山高등학교を設置するとともに、初等教育から大学・大学院までの一貫教育を実現する立命館小学校を北大路に設置しました。

附属校は、それぞれの学校が特色をもちながら、大学との連携強化・附属校間の相互交流を進め、多様な教育展開を行っており、附属校生は将来の職業選択や大学院進学を見通しながら系統的な学習を積み重ねていけるシステムの中で学んでいます。

#### 多彩な高度専門職業人養成大学院

( )は開設年度

- 応用人間科学研究科 (2001年)
- 言語教育情報研究科 (2003年)
- 立命館アジア太平洋大学経営管理研究科 (2003年)
- 法務研究科 (法科大学院) (2004年)
- テクノロジー・マネジメント研究科 (MOT大学院) (2005年)
- 経営管理研究科 (2006年)
- 公務研究科 (公共政策大学院) (2007年設置予定)

#### 新しい研究者養成大学院

( )は開設年度

- 先端総合学術研究科 (2003年)
- 立命館アジア太平洋大学アジア太平洋研究科 (2003年)

### 世界とのネットワーク



#### 「国際化」への取り組み

国際化は立命館の学園創造の要を成しており、教学の国際化、海外の諸大学・研究機関との協定、学生の国際交流等を総合的に進めてきました。

最近では、国際協力・国際貢献への取り組みも進め、政府系機関である「国際協力機構 (JICA)」、「国際協力銀行 (JIBIC)」などと連携し、主にODAによる国際協力の一端を担っています。例えば、アジア諸国の現職公務員を大学院で受け入れる留学生支援無償 (JDS) 事業や中国内陸部の大学管理運営幹部に対する「中国の大学管理運営幹部特別研修」などです。

また、インド洋大津波による被災国の復興支援のため、学校再建プロジェクトや人材育成支援などの独自の取り組みも進めています。

#### 世界にひろがる協定校

立命館学園は、世界四十六ヶ国・地域、一二五大学・研究機関と協力・協定関係を結んでおり (二〇〇六年三月末日現在、様々な国際交流を行うとともに、毎年多くの学生・教員が留学生活や研究活動を行っています。

また、海外における立命館学園の窓口としての海外事務所をインドネシアや韓国などに持っています。



#### 学生の交流

学部・大学院教育の国際化の一環として学生の交流を位置づけ、積極的に進めています。人文・社会・自然科学の各分野の専門能力に加え、国際社会で活躍するための総合的な能力を備え、さらに外国語運用能力に優れた国際感覚豊かな人材を育成するために多様なプログラムを拡充。海外の協定大学等に派遣される学生は年間一〇〇〇名以上の規模になっていますが、当面在学学生比二〇%の学生が卒業までに海外で学習・実習体験できることを目標としています。

また、世界各国・地域からの正規留学生は立命館大学八〇〇名 (二〇〇六年五月現在)、立命館アジア太平洋大学一八四七名 (二〇〇五年一月現在、合計で二五四九名) にのびます。このほかにも短期留学生約九〇名を受け入れています。



2005年4月に設立された情報理工学部プロジェクト団体である「ロボカップシミュレーションリーグ部門」(Ri-one)が、強豪がしのぎを削る予選を勝ち抜き、6月14日~20日にドイツのブレーメンで行われる「ロボカップサッカー2006」世界大会に出場することとなった。Ri-oneは学部の専門的特性を活かした活動が注目されている。今回はメンバーの1人で攻撃部門を担当した寺師佳彦さんにお話を伺った。

## ロボカップサッカーについて教えてください

ロボカップサッカーは今から10年前の1996年に日本で始まり、人間がサッカーの試合をするのと同じように、人工知能(AI)をもったエージェントと呼ばれるロボットにさまざまな情報を判断させ、サッカーの試合をさせるというものです。私たちRi-oneが世界大会に出場する「シミュレーションリーグ」では、ロボットそのものを実際に動かすのではなく、コンピューター上でバーチャルロボットが状況を判断し、試合が進行していきます。

今回の予選にエントリーしたのは40チームでしたが、最終的に予選に出場してきたのは15チームと、期日までに完成させることが最初の難関でした。期日までに、いかに満足のいくプログラムを完成させることができるかが勝利の鍵と言えます。

## ロボカップサッカーの魅力・苦労は？

ロボカップサッカーは、コンピューターゲームのように人から与えられたものではなく、走ったり、パスをしたりという基礎の動きからプログラミングしていくので、自分達で新しく創り上げていくことが出来るのが一番の魅力であり、やりがいです。また勝ち負けだけではなく、創ることの経過が楽しめるというのも魅

# Rits One ときの人



寺師佳彦 さん

情報理工学部3年生

Y o s h i h i k o T e r a s h i

## 誰にもできないことに チャレンジしたい

### Ri-oneのロボカップサッカー 世界大会への挑戦

力の一つです。

苦労した点といえばRi-oneは昨年誕生したばかりの新しい団体なので、手探り状態で活動していったことです。しかし、この新しい団体で自分たちが世界大会に出ることによって成果が出せたことは後輩への刺激になると思っています。「チャレンジすることを楽しむ」、これがRi-oneの力の原動力です。

予選を突破できた勝因を教えてください

チームは主に3人で作り、それぞれが基礎の動き・攻撃・守備を担当しました。私の担当している攻撃部門では基本に忠

ホームページもご覧下さい  
<http://www.ritsumei.ac.jp/infostudents/index.html>

実に攻撃するということに重点を置きました。予選の前に日本中からチームが集まって成果を試しあう秋キャンプというものがあり、その時点では難しい技をいろいろ試してみたのですが、うまく得点に結び付きませんでした。しかし、秋キャンプで失敗したことから学んで改善し、パス・ドリブルの精度を高めるという基本に忠実な動きに修正したことが予選突破・世界大会出場という結果に結びついたのだと思います。また部内戦などを行い、日々反省・改善することでモチベーションを維持したまま予選を迎えられたことも勝因ではないかと思っています。

## 世界大会での目標は？

チームの主力メンバーである私たち3年生は、今年からは研究室に配属されるため、今回が最初で最後のチャンスでした。そのため、世界大会に出場したいという強い思いをもって取り

組んでいました。その夢が叶って、次の目標は世界大会でベスト8に入ることです。ベスト8に入れば来年の世界大会のシード権を獲得することができるので、後輩のためにも自分たちが道を切り開きたいと思っています。ライバルは日本から出場する東京工業大学・東京大学の2チーム。1つでも多くのチームに勝てるように、世界大会までにさらに強いプログラムを作りたいと思います。世界大会では勝ち負け以外にも、たくさんのチームの試合を観戦し、他のチームから多くを吸収して、それを後輩に伝えていこうと考えています。



てらし よしひこ

情報理工学部情報システム学科3年生

情報理工学部プロジェクト団体ロボカップシミュレーションリーグ部門(Ri-one)所属。Ri-oneの中では攻撃部門を担当している。



## 立命館学園政策ニュース



### 「映像学部」開設準備進む

#### ■高い映像プロデュース能力を備えた人材育成を

本学では、デジタル化時代における映像コンテンツ産業を担う人材育成のため、二〇〇七年度に「映像学部」を開設することをめざして取り組みを進めています。

映像は、その国の文化力の指標となる芸術であり、今後世界的に見ても更なる発展が見込まれる重要な文化産業です。高等教育機関はその社会的要請に積極的に応えることが求められています。

歴史・文化都市である京都が発祥の地である本学には、様々な映像関連分野の教育研究実績があり、また、アート・リサーチセンターにおいては、文理融合型の映像関連の研究テーマが高い社会的評価を受けています。

これらの蓄積をいかし、映像学部を設置し、アートとテクノロジー、ビジネスの視点を融合させた高い映像プロデュース能力を持った人材育成を行うこととなりました。場所は衣笠キャンパス、定員は百五十名（四学年で六百名）。

映像学部では学生が将来の進路目標に応じて専門領域を修得できるように、「映像文化」、「映像製作」、「映像プロデュース」および「映像テクノロジー」といった四つの学びのフィールドを設けます。

総合大学ならではの広い視野で映像コンテンツをプロデュースできるように豊かな教養と基礎的知識を身につけ、経済・法的知識とともに最新の高度なテクノロジーも学ぶことができるようになっています。また、世界の文化や動きを理解した上で映像ビジネスを展開できるよう、海外交流についても計画しています。

#### ■立命館と松竹の連携にかかわる基本合意書締結

映像学部の新設に関して、五月十六日（火）に、「松竹株式会社 松竹京都映画株式会社お

よび学校法人立命館連携基本合意書」を締結しました。

この協定締結によって、日本の映像産業の発展に資する人材育成と、映画・映像技術の研究開発を共に進めることで、日本のコンテンツ産業全体の更なる発展をめざします。

また、京都の地に開設する映像学部は、「京都」をプロデュースする映像文化拠点として、このたびの産学連携による教育研究の実践によって京都・太秦に残る映画の伝統を引き継ぎ、京都発の新産業を創出し、地域に貢献することをめざしています。

また、インターシップ、立命館大学アート・リサーチセンターのデジタル・アーカイブにおける協力、次世代映像技術の開発などの多面的な連携の検討も進めていきます。



### 二〇〇七年度産業社会学部再編に向けて

#### ■一学科五専攻への再編

産業社会学部は、環境、都市、メディア、文化、エンタテインメント、スポーツ、企業・自治体、家族、福祉等、多様なテーマを対象として、学問領域をこえてアクティブな教育研究を展開してきました。

二〇〇七年度からは、教学領域を拡充し、現在の二学科制（産業社会学科・人間福祉学科）から一学科（産業社会学科）五専攻に再編することになりました。

この改革によって、産業社会学部の新しい専攻は、「現代社会専攻」、「メディア社会専攻」、

「スポーツ社会専攻」、「子ども社会専攻」および「人間福祉専攻」となります。

「専門性」と「学際性・総合性」の調和がとれた人材養成を目指すため、一つの専攻に所属しながらも、他の専攻領域も学ぶことができる「クロスオーバーラーニング」制を導入。学生の多様な進路希望に対応できる制度設計をしています。

また、きめ細かな履修指導を行うため、一回生から四回生まで一貫して小集団クラスを設置。二回生時には、メディア製作、社会調査、リーディング&ライティングなど、テーマ毎に集中的に学ぶ小集団プログラムを新設します。

他にも、インターンシップ、ボランティア、フィールドワークなど、アクティブな学びの場を充実させます。

#### ■小学校教員養成課程の設置

産業社会学部「こども社会専攻」には、小学校教員養成課程を設置します。団塊世代の大量退職時代を迎えるとともに近時の改革による少人数学級化によって教員の不足が指摘されており、小学校教員の養成が社会から求められています。また、本学は伝統的に多数の教員を輩出しており、これまでも「教職センター」を設置する等、正課と課外の両面から教員を目指す学生を支援してきました。

「こども社会専攻」の定員は六十名（予定）。全員が小学校教諭免許状を取得するための教職課程を履修できます。小学校との連携によるフィールドワーク、インターンシップ等を組み入れながら、実際の現場で生じていることに即した教育を重視し、徹底した少人数教育を特色とします。

### 公共政策大学院公務研究科の二〇〇七年度設置決まる

二十一世紀社会のグローバル化、情報化、少子高齢化、産業構造の変化等、時代が劇的に変





化する中で、公務の分野においても、これまでとは異なった政策立案と執行を行うことができる人材が求められています。そこで、「政策力」ある人材育成を目的として公共政策大学院公務研究科を二〇〇七年度に設置することになりました。

場所は、JR二条駅前に今秋オープンする朱雀キャンパス。定員は六十名。社会人も対象にするため、昼夜開講・土曜日開講を行います。

教育の特徴は、分野が異なる複数の教員でゼミを担当し、大学院学生が発表した政策構想を多面的に議論して練り上げる「リサーチ・プロジェクト」です。各大学院学生が具体的な政策課題について討論を繰り返しながら、解決策を作成します。

多数の現職公務員などの実務家が授業を担当し、実践的なトレーニングも実施します。

修了生の進路は国家公務員を中心として、シンクタンクやNPO（民間非営利団体）なども想定しています。

本学の大学院としては十五番目となります。

## 立命館総合ミュージアムが始動

### ■立命館総合ミュージアム構想

我が国有数の規模を持つ総合学園となった立命館学園には、それぞれのキャンパスが立地する地域との深い連携と協力のもとに、新しい文化を創造する社会的役割を果たすことが求められています。

とりわけ、衣笠キャンパスが位置する歴史・文化都市京都においては、その役割を果たすことはより重要なこととなります。京都市北西部の衣笠地域は、周囲を世界遺産の金閣寺、龍安寺、仁和寺、また北野天満宮など神社仏閣多数に囲まれた歴史的・文化的地域であり、本学園が事務局をつとめる「京都歴史回廊協議会」の中心フィールドです。

そこで、本学園が中心となって京都市北西部一帯における各種歴史・文化事業を積極的に担

っていくために、「立命館大学国際平和ミュージアム」や「堂本印象美術館」（立命館が指定管理を開始・後述）をはじめとする学園内のミュージアム等の施設を「立命館総合ミュージアム」と銘打ち、総合的にプロデュースしていきます。

今後は、白川静東洋文字文化研究所、立命館孔子学院、立命館大学歴史都市防災研究センターなどの事業や「立命館土曜講座」など各種公開講座との連携等を積極的に進めていきます。

なお、立命館総合ミュージアム館長には、神林恒道教授（立命館大学大学院先端総合学術研究科）が就任しました。

### ■堂本印象美術館の指定管理を開始

衣笠キャンパス正門前にある「京都府立堂本印象美術館」の指定管理を学校法人立命館が行うことになり、六月一日（木）、堂本印象美術館・学校法人立命館 指定管理開始式 が行われました。

開始式には、神林恒道・立命館総合ミュージアム館長／立命館大学大学院先端総合学術研究科教授、木村一信・堂本印象美術館館長／立命館大学文学部長、高杉巴彦・堂本印象美術館副館長／学校法人立命館常務理事（総務担当）をはじめとする関係者等、約三十名が参加。テープカットに続き、神林恒道立命館総合ミュージアム館長および木村一信堂本印象美術館館長が、「指定管理を通じて地域文化への新しいかたちでの貢献を行い、これからは立命館らしい企画・取り組みを展開したい」と抱負を語りました。



堂本印象美術館では、堂本印象や日本の伝統文化に関する様々な企画や、「京都歴史回廊協議会」との連携企画も検討していきます。



### ●次回企画

「花鳥風月の心―日本人の自然観」  
七月四日（火）～十月十五日（日）（月曜休館）  
堂本印象美術館 075146310007

## 立命館守山高高等学校が「スーパーサイエンスハイスクール」に採択される

四月三日（月）、立命館守山高高等学校が文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール」（以下、SSHとする）に採択されました。

文部科学省SSHとは、高等学校および中高一貫教育校における、理科・数学に重点を置いた取り組みを大学等との密接な連携のもとで推進し、将来の国際的な科学技術系人材育成に資するための事業です。

立命館守山高高等学校では、すべての生徒を対象に、次の二つを柱として研究開発を進めます。

①立命館大学に設置する「科学技術教育研究推進部門」のもと、大学の授業の高等学校での単位認定や、大学での学びを実質三年で修了して大学院に進学する制度等、高・大・院接続の新しいモデルを創出します。

②ものづくり・現物・現場から科学を学ぶ「科学と技術の統合的教育」、科学技術をテーマとするキャリア教育・インターンシップ・アントレプレナーシップ教育の研究開発、「地域貢献センター（Community Service Center）」を拠点とした、地域に学び、世界に向けて発信する科学技術教育の研究開発を行います。

# 衣笠



## 歴史都市防災研究センターが開館 開館記念講演会を開催

四月十二日（水）、立命館大学歴史都市防災研究センターの開館記念講演会が行われた。この歴史都市防災研究センターは、多くの文化遺産を抱える京都を災害からいかに保全するかという研究を推進し、研究体制の核となる役割を担うものである。災害科学や土木工学、建築学、情報学、人文社会科学などの研究



者約三十名が連携して、学術研究体系を構築することをめざす。

講演会では、土岐憲三歴史都市防災研究センター長・理工学部教授が開会の辞を述べた後、記念講演として森清範清水寺貫主が世界文化遺産である清水寺の周辺の防災への取り組みや、門前町の住民との防災に向けた様々な協力について話した。

歴史都市防災研究センターは、地上二階、地下一階建て。開館記念企画展示として、一階展示室では河川はんらん・地震などの災害を想定したハザードマップ約百十点が展示された。

## 映画『花よりもなほ』完成披露試写会開催

四月二十九日（土）、衣笠キャンパス以学館一号ホールにて、映画『花よりもなほ』の完成披露試写会が、産業社会学会学生委員会により行われた。この作品は、産業社会学部客員教授である枝裕和監督の最新作。学生や市民、約八百名が鑑賞した。

上映後、枝監督、作品に出演した木村祐一さん、そして学生の代表によるトークセッションが行われた。監督は「同じシーンを何度も撮り直したり、台本を変更して、現場で偶然に出てきた言葉を台詞にした」などと、作品づくりへのこだわりと苦

労についても語った。

学生代表としてセッションに参加した合津貴雄さん（文2、映画部所属）は「直には枝監督や木村さんに質問できず、後、映画づくりへの刺激となった」と、感想を語った。



# BKC



## 立命館大学ボランティアセンターが 滋賀県社会福祉協議会と協定調印

四月二十六日（水）、びわこ・くさつキャンパス（BKC）において、立命館大学ボランティアセンターと滋賀県社会福祉協議会が学術交流・協力協定の調印式を行った。ボランティア活動の発展と、それを通じて大学生の学びや成長に寄与することを目指し、相互協力を行う。滋賀県では初めてのボランティアに関する学術交流協定であり、また、大学と都道府県級の社会福祉協議会との協定締結は、全国初となる。

式では、文部科学省の「現代的教養二一三取組支援プログラム（現代GP）」に採択された「地域活性化

ボランティア教育の深化と発展や、二〇〇七年度の実施を目指す滋賀県での「ボランティアコーディネーター養成プログラム」などについての説明も行われた。また、この日は、「ボランティアセンター」のオープニングセレモニーも開催され、多数の学生や市民が参加した。



## 立命館小学校開校式挙行

### 児童全員で「開校決意の言葉」を発表

三月二十七日（月）、立命館小学校開校式が行われた。新一年生から新三年生の三百六十八名、保護者、来賓など約千人が門出を祝った。

式は立命館大学男声合唱団メンバーコールによる校歌斉唱で幕開けし、長田豊臣立命館総長が「学園にとつて、小学校からの一貫教育のスタートであり、新たな小学校教育のモデルとなる教育実践を行っていく。世界へと羽ばたく子どもを育てたい」と挨拶した。また、後藤文男校長と児童代表が「一人ひとりの生命（い

のち）が輝く学び舎にします」と開校宣言した。その後、学年ごとに新しい制服に身を包んだ児童が登場、元氣よく「開校決意の言葉」を発表し、会場は期待と喜びに溢れた。

なお、入学式は四月八日（土）に行われた。





## 各オフィスほか

『立命館百年史』通史二を刊行  
—刊行祝賀会の開催—

四月二十八日（金）、宝ヶ池プリンスホテルで『立命館百年史』通史二の刊行祝賀会が行われた。本学では一九九九年に『立命館百年史』通史一を刊行、この度、戦後から七〇年代に焦点をあてた通史二を刊行した。

通史二では、「自由と清新」の学風を受け継ぎ、「平和と民主主義」の教育理念のもと末川博総長とともに戦後日本に羽ばたいた立命館学園の「復興」から「振興」を記述し、八〇年代以降の「学園創造」と称される時期の礎を記している。とりわけ、六〇年代後半の「大学紛争」については、世界的な連関のなかに位置づけた総括を試みている。

刊行祝賀会では来賓代表として大南正瑛前総長が挨拶。服部健二百年史編纂室副室長と芦田文夫前室長からは経緯・内容説明が行われ、川本八郎理事長から芦田前室長に感謝状が贈呈された。その後、北村春江監

事から乾杯の「発声」があり、『立命館百年史』通史二の刊行を祝賀するとともに、これからの学園創造に向けて参加者全員で決意を新たにしたり、『立命館百年史』通史二の主要目次は次のとおり。

## 序章

第一章 戦後の再出発と「立命館民主主義」への模索

第二章 「立命館民主主義」の創成と学園の整備

第三章 「大学紛争」と立命館学園の課題

第四章 立命館学園新展開への始動

『立命館百年史』は通史、資料編それぞれ全三巻の刊行を予定。今年度には資料編の第二巻を刊行し、三年後に全巻の刊行を目指している。

なお、刊行記念として七月末まで、『立命館百年史』通史二（A5判、一四五二頁、上製函入）を四千円（通常価格五千円）、通史二・二の二冊セット八千円（通常価格一万円）、通史一・二（資料編一）の三冊セット一万六千八百円（通常価格二万一千円）で取り扱い中。

◇購入申込・お問合せ先電話番号  
立命館生協「存心館ブック&サービ  
ス」075・465・8288  
（株）クレオテック「シヨップリベル  
テ」075・463・9740

立命館守山高等学校開校式挙行  
—地域に学び、世界に発信できる学校へ—

四月二十一日（金）、滋賀県守山市民文化会館大ホールにおいて、立命館守山高等学校の開校式を開催し、在校生、新入生とその父母、関係者ら約九百名が列席した。

第一部で、川本八郎立命館理事長は「将来を担う人材を育成するために全力を挙げて教育の充実に邁進したい」と挨拶。また、来賓の山田亘宏守山市長は「守山市とともに立命館学園が



発展していただきたい」、國松善次滋賀県知事は「これまでこの伝統を踏まえ、新

しい伝統を構築していただきたい」と祝辞を述べた。

そして、立命館守山高等学校同窓会「早苗会」会長の前田啓好氏からは「立命館学園の同窓会とも連携し、同窓会組織を強化し、立命館学園の発展に寄与したい」との挨拶があった。

そして、生徒会と新入生の代表が「滋賀県に降り注ぐ雨が琵琶湖に流れ、やがては太平洋、世界の海へとつながっていくように、地域に学び、世界に発信できる学校を、この学校を支えて下さるすべての方々とともに創ることを誓います」と宣言した。

第二部では、在校生による新入生歓迎イベントが行われた。

「APUニューチャレンジスタート」  
新校舎の起工式を挙行

立命館アジア太平洋大学（APU）では今年度、更なる発展というその国際化をめざして「APUニューチャレンジ」計画をスタートさせた。「APUニューチャレンジ」は、入学生・収容定員の増加や、学部・研究科の専門領域の枠を超えた複合的な学びを可能にする教育体系「インスティテュート」の設置などを計画の主な柱としている。

定員増をふまえて、新たに教室棟、研究棟、学生関連施設棟、APハウ

ス（学生寮）が建設されることになり、その起工式が四月十九日（水）に行われた。挨拶にたった川本八郎理事長は「このニューチャレンジが今後のAPUを大きく左右する。リアルにあって真の国際大学を目指すべく、皆様と努力していくことを誓います」と述べた。これらの新校舎は、二〇〇七年二月に竣工の予定



## APUおよび附属校





# S P O R T S &

## SPORTS

問い合わせ先：スポーツ強化センター  
075-465-7863



### アメリカンフットボール部

**第56回 長浜ひょうたんボウル**  
(4月29日 長浜ドーム)

○27-24 早稲田大学

### 関西学生大会

(5月21日 長居球技場)

○24-6 関西大学



### 硬式野球部

**関西学生野球六大学春季リーグ戦 立同戦**  
(5月22日～25日 西京極球場)

5/22 ○5-3 同志社大学

5/24 ×1-2 同志社大学

5/25 ○3-0 同志社大学

5月25日、西京極球場において関西学生野球春季リーグ戦の立同戦（対同志社大学戦）第3戦が行われました。

試合は、初回に立命館大学の西岡克真（文4）のタイムリーヒットで立命館大学が先制する展開。先発した大島一修（文2）が同志社打線をテンポよく抑え、5回にも、濱岡直毅（産社4）



のセンター前ヒットと川端裕也（産社4）・中塚浩太（産社4）の2ベースヒットで2点を追加。同志社大学

に付け入る隙を与えず、3-0での完勝。大島投手は途中何回か失点のピンチを迎えるも凌ぎきり、初完投初完封での勝利となりました。

この立同戦を最後に、関西学生野球春季リーグが閉幕し、立命館大学は2位でした。



### 弓道部

**第50回 関西学生弓道選手権**

(5月20日～21日 グリーンアリーナ神戸)  
**女子3年ぶり5度目の優勝!**

5月20日（土）・21日（日）に開催された第50回関西学生弓道選手権で、小池朋美（文2）・小林詩織（国関1）・川口公子（文4・女子副将）の本学女子Bチームが団体優勝、四ノ宮明日香（国関2）・久保亜津美（理工4）・松山奈々代（法4・女子主将）の女子Aチームも準優勝を勝ち取りました。

今回は記念大会ということもあり、史上最多の132チームで覇を競うこととなりました。

決勝トーナメントでは、各チームとも安定した高的中で第1回戦を突破、本学は史上初めて、ベスト8内に3チームが進出しました。

トーナメントに残ったA・Bチームは、準決勝でそれぞれ好調の甲南大学の2チームを下し、同大会史上初の同一大学による決勝戦を迎えました。実力者同士の対戦は、10対10で引き分け、続いての再試合で、松山総大将（女子主将）率いる主力Aチームが、川口副将率いるBチームに6対4で敗れ、Bチームは感動の優勝を自力でつかみとり全関西の頂点に立ちました。



### サッカー部

**第35回 関西学生サッカー選手権大会**  
**決勝戦 (6月3日 長居スタジアム)**

×2-3 関西大学

準優勝

全日本大学サッカートーナメント（7月2日～8日）への出場決定



### 射撃部

**第4回 関西オープン大会**  
(4月8日～9日 能勢射撃場)

50m3×20

中原麻衣（産社4）1位

10mP60

木下泰治（情理2）1位

10mS40

篠原麻里（産社2）1位

**第53回 春季全関西学生ライフル射撃選手権大会**

(4月20日～22日 能勢射撃場)

総合 団体優勝

50m3×20 団体優勝

10mS40W 団体優勝

10mS40W 川端さなえ（法2）1位



### 重量挙げ部

**第3回 全日本学生選抜選手権大会**  
(4月28日 磯子スポーツセンター)

女子63kg級

長崎華奈（産社4）優勝

**第52回 全日本学生個人選手権大会**  
(5月12日～13日 羽曳野コロセアム)

女子69kg級

平嶺 綾（産社4）優勝



### 自転車競技部

**第8回 全日本学生選手権クリテリウム大会**  
(4月29日 立命館大学びわこ・くさつキャンパス)

男子2.1km、20

周、ポイントレ

ース

辻 善光（経済

4）優勝



### 男子ソフトボール部

**関西学生ソフトボール 春季リーグ**  
(4月16日～5月4日 万博記念公園球場)  
優勝



### 卓球部

**第48回 関西学生卓球新人大会**





# EVENTS

## (4月22日～24日 枚方市松下電器体育館) 男女団体、男女シングルスアベック優勝

4月22日から24日にかけて開催された関西学生卓球新人大会において、卓球部が男子団体優勝、女子団体優勝、男子シングルス優勝・石野倫寛（法2）、2位・坂本旬（政策1）、3位・原田学（産社1）、女子シングルス優勝・石塚美和子（産社1）、2位・岡本真由子（産社1）の好成績を収めました。

卓球部はこの新人戦結果を踏まえて、関西学生春季リーグ戦においても男女アベック優勝を目指します。

## バドミントン部

### 関西学生バドミントン 春季リーグ (5月10日～22日 臨海スポーツセンター 他)

男子 準優勝  
女子 優勝



関西学生バドミントン春季リーグ（男子・女子ともに1部）で、女子が2期ぶりの優勝を飾りました。

立命館は神戸学院大、京都産業大、天理大を退け、迎えた第4戦、関西大との全勝対決を5-0で乗り切り一気に優勝を引き寄せました。最終戦は昨季苦杯をなめた龍谷大との対戦でしたが、昨季はこの対戦に負けたことで優勝を逃しただけに、期待と不安が入り混じる試合となりましたが、リードを許した状況でも冷静なラリーを続け勝利。6戦全勝で春季10度目の優勝を勝ち取りました。

一方の男子も、初戦から龍谷大・天理大に足をすくわれそうになりながらも全勝を守り、最終日、近大戦を迎えました。第1シングルスはルーキー安田敬之（産1）を投入し、のびのびとしたプレーで先行を狙いましたが、相手エースの実力が勝り敗戦。続く第2シングルス立藤光晃（文3）に勝負がかかりますが終盤の競り合いから抜け出されてしまい、結果は準優勝でした。

続く6月の関西選手権（個人戦）では全種目制覇を狙います。

## ボート部

### 第51回 中日本レガッタ (4月14日～16日 愛知池漕艇場)

男子舵手なしフォア 優勝

## 男子陸上競技部

### 第83回 関西学生陸上競技対校選手権大会

(5月14日・18日～20日 大阪市長居第2陸上競技場)

ハーフマラソン 森田知行（経営4）優勝



立命館大学と韓国・慶熙大学校との「文化スポーツ交流協定」に基づき、韓国・慶熙大学校のヒップホップサークル「発光（パルグアン）」が来日し、立命館大学のダブルタッチサークル「Dig Up Treasure（ディグアップトレジャー）」と交流を行いました。

2月21日（火）に、びわこ・くさつキャンパス（BKC）のセントラルアーク内で行われた交流イベントでは、慶熙大学校の副総長をはじめ、約200名もの来場者が集まり、両校のサークルが演技披露を行いました。演技中は曲に合わせて手拍子が起こるなど、盛り上がりを見せ、来場者も学生たちの演技に見入っていました。

「文化スポーツ交流協定」は、1994年に締結以降、毎年交互に学生サークルの派遣・受入れを行っており、これまで立命館大学からは、バスケットボール部、能楽部、書道部が慶熙大学校を訪問。また慶熙大学校からは、サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、剣道部などが立命館大学を訪れました。今後も「文化スポーツ交流協定」の発展をはじめ、両校の関係がより一層高まることが期待されます。

CULTURE/ART  
文化・芸術  
問い合わせ先：学生センター  
075-465-8141

## 能楽部

### 「立命薪能」を開催

能楽部による「立命薪能」が5月16日、以学館前広場にて行われました。部員たちは特設舞台で日ごろの練習の成果を思う存分発揮しました。



今回の演目は「養老」「花月」で、「花月」は昔天狗にさらわれた息子を探す旅に出た父親が、有能な芸能者に成長した息子「花月」に再会するという話でした。会場には学生だけでなく、能楽部ファンの教職員や日本文化に関心の高い留学生、地域の方、そして立命館小学校の児童と保護者も招待され、15組ほどの親子連れが鑑賞しました。舞いが終わるたびに会場からは大きな拍手が起こり、舞台の完成度の高さに一同見入っていました。

## 「文化スポーツ交流協定」に基づき 韓国・慶熙大学校が来日

2月20日（月）～23日（木）にかけて、立

## 2006年度新歓祭典開催

4月22日（土）、びわこ・くさつキャンパス（BKC）で、2006年度新歓祭典が開催されました。この新歓祭典では、新入生がクラスで模擬店を出店し、主体的に祭典に参加することが特徴となっています。キャンパスは地域住民の方々も多く訪れるなか、新入生の200を越える模擬店や、サークルによる展示、ステージ上でのパフォーマンスが行われ、大きな盛り上がりを見せました。



＊6月3日幹事会が開かれ、幹事の皆さんから母校に対する熱い想いが語られた。そして、総務委員会、財務委員会、広報委員会から活動報告がされた。報告によると、昨年の全国校友大会は約1,700名の参加があり、今年は11月4日(土)に例年どおりホテルグランヴィア京都で校友大会が開催されるとのことである。しかし、近い将来の校友大会は、ホテルを会場とするような今までのようなスタイルでは、参加者の規模からして開催が困難である。これからは、ホームカミングディのような形で、キャンパスで開催するの一案であろう。しかし、その内容等については十分吟味しておく必要がある。何はともあれ、年に一度の校友大会、今から予定をしておかねば…。(尾崎)

＊七月の声を聞くに京都三大祭の一つである祇園祭の季節。「コンチキチン」の懐かしいお囃子の調べが中京、下京の鉾町山町から聞こえ華やいだ雰囲気は、「京童」の心をわくわくさせます。在学中「山鉾」の曳き手のアルバイトを経験した校友も多数おられる事でしょう。又現在もそのアルバイトが継続しているとの事。校友の皆様、たまには祭見物は如何ですか。

今号のINTERVIEW欄には、西陣織の技術を以て祇園祭の山鉾の懸想品の復元作業の責任者として活躍されている、自動車用シート・室内装飾等の総合織物メーカーとして著名な(株)川島織物セルコンの明石文雄氏(72文)に登場して頂きました。氏と小生とは昵懇の間柄です。(仲 治寛)

＊先日シンガポールに住む友人を訪ねる機会がありました。なんと彼女はシンガポール校友会の集まりに参加しているというのです。こんなところで校友会の話しを聞くとはいってもしなかったのが驚きました。このように同じ大学出身ということは、卒業後どこかで縁を運んできてくれるか分かりません。この会報もその縁の一つとして皆さんのお役に立てればと思います。(た)

## 立命館学園債のご案内

- 発行日：2006年10月1日
- 利率：利付園債に準じる予定
- 申込期間：2006年8月1日～2006年9月29日(予定)

＊募集総額、条件(1口の金額、据置期間等)については、7月下旬に決定し、ホームページ  
<http://www.ritsumei.ac.jp>  
等でお知らせする予定です。

(お問い合わせ先) 立命館大学 財務部 財務企画課  
TEL. 075 (465) 8120

## りつめい No.225/2006年7月号

発行所/立命館大学校友会/年4回発行  
発行人/山中 諄  
編集人/尾崎 敬則  
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1  
Tel. 075(465)8120・8124  
Fax. 075(465)8125  
URL: <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/>  
E-mail: [alumni@st.ritsumei.ac.jp](mailto:alumni@st.ritsumei.ac.jp)

## ●校友会・グループ インフォメーション

※(職)は職場電話番号

| 校友会・グループ                            | 日時              | 会場             | 問い合わせ先                  |
|-------------------------------------|-----------------|----------------|-------------------------|
| 神奈川県校友会総会                           | 7/1 (土) 14:30   | 崎陽軒本店          | 長谷川貞栄 045 (933) 4662    |
| 群馬県校友会総会                            | 7/1 (土) 18:30   | 高崎ワシントンホテル     | 石橋 博 027 (372) 8422     |
| 京都校友会八幡支部総会                         | 7/1 (土) 14:00   | 松花堂美術館研修室      | 滝川孝治 075 (982) 5191     |
| 大阪校友会年次大会                           | 7/7 (金) 18:30   | ホテル阪急インターナショナル | 大阪オフィス 06 (6201) 3610   |
| 岩手県校友会総会                            | 7/8 (土) 14:00   | ホテルルイズ         | 大橋謙一 019 (623) 6575     |
| 秋田県校友会総会                            | 7/8 (土) 15:00   | ホテルメトロポリタン秋田   | 兜森勲夫 018 (834) 6871     |
| 富山県校友会総会                            | 7/15 (土) 15:30  | 名鉄トヤマホテル       | 吉野久幸 (職) 076 (431) 2201 |
| 滋賀県校友会総会                            | 7/15 (土) 12:00  | ホテルボストンプラザ草津   | 徳田克彦 (職) 077 (521) 2054 |
| 岡山県校友会総会                            | 7/15 (土) 17:30  | 真備会館           | 守屋博司 (職) 086 (232) 0945 |
| 香川県校友会総会                            | 7/15 (土) 16:00  | 喜代美山荘「花樹海」     | 田村晴彦 087 (843) 7275     |
| 愛媛県校友会総会                            | 7/15 (土) 17:00  | 松山全日空ホテル       | 岡本正志 089 (956) 6517     |
| 清和会総会                               | 7/15 (土) 15:00  | ウエスティン都ホテル京都   | 立命館中・高 075 (645) 1051   |
| 岐阜県校友会総会                            | 7/22 (土) 17:00  | グランヴェール岐山      | 折戸優児 (職) 058 (251) 2240 |
| 長野県校友会総会                            | 7/23 (日) 16:00  | ホテルモンターニユ松本    | 桑原政見 2363 (58) 7403     |
| 駿府会新人歓迎ビアパーティー                      | 7/28 (金) 19:00  | ブケ東海静岡「フィオーレ」  | 佐藤友清 054 (246) 2065     |
| ALL立命館交流パーティー                       | 9/2 (土) 12:00   | 立命館慶祥中学・高校     | 立命館慶祥中・高 011 (381) 8888 |
| 島根県校友会総会                            | 9/17 (日) 14:00  | サンラボーむらくも      | 日野雅之 0852 (31) 5225     |
| 軽音楽部OB会 Super Session 2006 in OSAKA | 9/17 (日) 13:00  | アサヒスーパードライ梅田   | 福井正秋 075 (861) 0815     |
| 北摂会総会                               | 10/7 (土) 12:30  | ホテルアイポリー       | 湯川正之 (職) 06 (6844) 2001 |
| 埼玉県校友会総会                            | 10/15 (日) 13:00 | 川越東武ホテル        | 西垣義明 048 (963) 2108     |
| 兵庫県校友会総会                            | 10/15 (日) 12:00 | ホテル「ホップイン」アミング | 寺田 豊 (職) 06 (6429) 9906 |
| 福井県校友会総会                            | 10/28 (土) 16:30 | 福井厚生年金会館       | 澤田謙三 0776 (38) 2000     |
| All-Rits 立命館校友大会                    | 11/4 (土) 17:00  | ホテルグランヴィア京都    | 校友会事務局 075 (465) 8120   |
| 東京校友会総会                             | 12/9 (土) 15:00  | パレスホテル         | 東京オフィス 03 (5204) 8611   |

## ●校友消息(判明分)

### 叙勲 2006年春分

#### ◆瑞宝中綬章

黒崎敏晴氏(51経済)  
広島大名教授

#### ◆旭日小綬章

宮川 昭氏(49専法経)  
中央倉庫会長

#### ◆瑞宝小綬章

堀井佳久氏(59法)  
元大蔵省理財局国有財産鑑定課長

井ノ口善夫氏(60法)  
元滋賀県人事委員会事務局局長

#### ◆旭日日光章

中野信男氏(58経済)  
元安曇川町長

#### ◆瑞宝双光章

井口秀郎氏(48専文)  
元京都大原子炉実験所事務部長

堀 昭三氏(51文)  
元公立中学校長

赤井鋭夫氏(52文)  
元公立小校長

野間重次郎氏(54法)  
元公立中学校長

吉岡徳男氏(54法)  
元公立小校長

木田高司氏(58理工)  
元製品評価技術センター九州支所長

内田静子氏(79文)  
元関西医科大学付属病院看護部長

### 危険業務従事者叙勲 2006年春分

#### ◆瑞宝双光章

前田 昭氏(67法)  
消防功労  
松田清一氏(73法)  
消防功労

### 褒章 2006年春分

#### ◆黄綬褒章

杉本丈夫氏(61理工)  
弁理士

#### ◆藍綬褒章

北河 博氏(52理工)  
保護司  
木下誠之氏(52経済)  
保護司

### 就任

桑山博之氏(63法)  
津山市長

岩本輝雄氏(67法)  
高槻市収入役

古谷 寛氏(69産社)  
(株) ジャパンメンテナンス  
代表取締役社長

高田耕平氏(67経営)  
京都機械工具(株) 取締役

荒川芳之氏(70経営)  
(株) 四電工 常務取締役

### 訃報

細川興賢氏(47法文)  
(立命館館友・元校友会副会長)  
6月4日ご逝去。82歳。

猿田 誠氏(75経営)  
(長野県校友会幹事長)  
5月10日ご逝去。55歳。

## BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。



価格は本体価格です。

◆川村匡由氏('69文)著  
『2006年版 福祉の仕事ガイドブック』  
中央法規出版\*1600円

◆小林由香氏('93文)著  
『[改正高年齢者雇用安定法] 65歳雇用延長の実務ポイント』  
中経出版\*1100円

◆樹本妙子氏('03院社)著  
『健康社会学への誘い—地域看護の視点から—』  
世界思想社\*1800円

◆青木淳夫氏('97産社)著  
『プログラムを作ろう! パソコン教科書 Microsoft Visual C++ 2005 Express Edition 入門』  
日経BPソフトプレス\*1900円